

目次

I 事業概要	
1. 展観事業	
常設展示	2
春季特別陳列	2
夏季特別展	4
秋季特別展	6
冬季特別陳列	8
ホール展示	9
コーナー展示	9
2. 教育普及事業	
史跡散歩	10
体験学習	10
市博講座	10
古文書講座	11
キッズトライアル	11
校区探検	11
回想法プログラム	11
博物館実習	12
ミュージアムボランティア	12
職場体験	12
ホームページ	12
3. 調査研究事業	
職員の執筆文献	13
4. 市史資料管理事業	14
II 収蔵資料概要	
1. 購入資料概要	14
2. 受贈資料概要	15
3. 受贈図書概要	15
4. 映像資料概要	21
III 平成27年度の展望	
1. 平成27年度事業予定概要	21
2. 平成27年度博物館当初予算	24
IV 資料	
入館者の動向	24
アンケートの集計	26
館機構	27
博物館職員	27
和歌山市立博物館協議会委員名簿	27
和歌山市立博物館条例	28
和歌山市立博物館条例施行規則	30

事業概要

1. 展観事業

○常設展示

1階の常設展示室(約1,000㎡)では、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマとして、原始・古代・中世・近世・近代・民俗の6つのコーナーに分け、それぞれに関連資料を展示している。

各コーナーでは、随時資料の展示替えを行っている他に、民俗及び近世部門の一部の展示ケースを利用して「コーナー展示」を定期的実施している。

なお、玄関ホールにあるオブジェが老朽化したため、安全を考慮し撤去した。

○春季特別陳列

「わかやま歴史再発見 —ミュージアムコレクション—」 開催概要報告

<開催期間>

平成26年4月19日(土)～6月1日(日)

<開催日数> 37日間

<入館者数> 1525人



<開催趣旨>

和歌山市立博物館に収蔵されている作品から、小・中学校の社会科(歴史)と関連する和歌山の歴史に関する作品、また教科書に載っている作品などをトピック展示した。展示をとおして和歌山の歴史を再発見すると共に学校教育の補完として博物館を利用していただいた。

期間中、「わかやま歴史再発見クイズ」や「やさしい和歌山の歴史」と題して子ども向けの講座を3回行った。

4月19日(土) おおむかしの和歌山

4月26日(土) 信長・秀吉のころの和歌山

5月3日(土) 古写真にみる和歌山

<展示構成>

小・中学校の社会科(歴史)と関連するような和歌山の歴史に関する作品、また教科書に載っている作品などを博物館の収蔵作品からトピック展示した。このため、大きく時代順に4つのコーナーに分けて展示した。

I 古代までの日本

このコーナーでは、縄文時代から平安時代までの間をあつかった。和歌山市で発掘された縄文土器や弥生土器、また、和歌山市指定文化財の男子立像埴輪(力士埴輪)の複製品、奈良時代の木簡(複製)や和同開珎(和歌山市指定文化財)などを展示し、人々の暮らしをみていただいた。

II 中世の日本

このコーナーでは、鎌倉時代から安土桃山時代までの間をあつかった。足利尊氏の花押(サイン)がある書状や武士が馬の訓練をしている「調馬図屏風」などを展示した。また、メルカトル世界図や雑賀鉢兜(和歌山市指定文化財)など戦国時代の和歌山をものがたる作品を展示した。

III 近世の日本

このコーナーでは、江戸時代をあつかった。紀州藩5代藩主で徳川幕府8代将軍となる徳川吉宗の肖像や鷹狩りの道具を展示。また庶民教育として寺子屋などで使用されていた教科書なども展示した。さらに、ペリーが浦賀に来航した時の絵図などを展示し、江戸時代の和歌山の文化や幕末の

動乱などをものがたる作品を展示した。

IV 近代の日本

このコーナーでは、明治時代から昭和時代(戦後の復興)までをみつかった。明治維新や文明開化等をものがたる錦絵や、和歌山の近代化をものがたる資料を写真や戦災写真、そして復興までの足跡をパネルで紹介した。

<展示点数>約200件

(初公開3件、和歌山県指定文化財1件、和歌山市指定文化財3件)

期間中、リーフレットを作成し来館者に無料配布した。

なお、5月16日(金)から18日(日)は、「国際博物館の日」にちなみ終日入館無料とした。

<展示資料>

瀬戸貝塚 縄文土器片・貝殻・獣骨、太田・黒田遺跡 壺・石包丁、晒山7号墳円筒埴輪、太田・黒田遺跡 土師器 壺・土師器 埴・土師器 高杯・土師器 甕、花山44号墳鉄器 刀子・鉄器 剣、大谷古墳出土馬冑(複製)、井辺八幡山古墳出土男子立像埴輪(複製)、前山B101号墳鉄製品 刀子・鉋・鋸、大谷山22号墳須恵器 高杯・須恵器 台付壺、前山B101号墳須恵器 杯・蓋、須恵器 壺、上野廃寺跡軒丸瓦・軒平瓦、須恵器 円面碗、毘沙門天立像(複製)、平城京跡出土木簡(複製)、太田・黒田遺跡出土 和同開珎・万年通宝、守護島山国清書下・足利尊氏御判御教書・沙弥道珎田畠寄進状 歡喜寺文書、賀太浦魚配分状案、賀太荘年貢斗代等目安、永春畑地売券案、田中家本「調馬図」屏風、明秀上人肖像、親鸞上人画像、メルカトル世界図、火繩銃、浄永寺板碑(複製)、鉄錆地雑賀鉢兜、織田信長朱印状、太田城由緒並郷土事、羽柴秀吉朱印状、違鷹羽紋滴水瓦、御天守起シ絵図、和歌山城下町絵図(複製)、紀伊公岡崎御通通行行列図巻、徳川家康旗下二十将図、江戸名所図会、摂津名所図会、都名所図会、徳川吉宗肖像、徳川吉宗黒印状、黒漆葵紋入鷹狩用陣笠、黒漆葵紋入鷹の餌合子、赤坂御庭園画帖、明君享保録(写)、紀州政事鑑(写)、有徳院殿御実紀(附録・写)、錦絵・大岡調名譽本説、本居宣長肖像、鈴屋円居図(写)、本居大平肖像、本居大平懐紙 西浜御殿藤花、蔵志(複製)、解体新書(複製)、蘭学階梯、鳴蘭新訳地球全図、論語補解辯證、勢遊草、南紀風雅集毛詩補伝、論語補解、貞観政要、孝経集伝、女大学宝箱、女寺子調法記、寺子教訓往来、商売往来(写)、雪中牡丹図 徳川治宝筆、西浜御殿舞楽之図、偕楽園焼 交趾写二彩紫葉水指、瑞芝焼 青磁菊透文手焙、南

紀男山焼 染付不老橋絵鉢、南紀男山焼 染付紀三井寺図水指南紀男山焼 色絵花蝶文花生、墨梅図 祇園南海筆、雲鶴清曉図 桑山玉洲筆、竹石図 野呂介石筆、俳優濱真砂・巻五、紀伊国名所図会(和歌山補遺)、一休諸国物語図会、下懸小謡大成、三味せんひとりげいこ、古流生花道しるべ、一行書「蘭有秀」徳川家茂書、軍図(異人上陸ノ図)、和歌山付近海防図、合戦場諸軍勢押寄西国長州隣国之図、陰徳太平記新図、尼子軍記石州津和野合戦、賑糶之図 岩瀬広隆筆、諷刺絵子供遊びの図、安政の大祓図、紀州大地震大津浪の次第、東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉瓦石商家繁盛之図、京橋区銀座通尾張町煉瓦造之真図、本町通油町緑橋の図、新版車づくし、東京第弍名所銀座通煉瓦石之図、東京日本橋風景、錦絵筋違万代橋租税寮之図、新版流行車づくし、錦絵古今東京名所、竹橋内陣営前近衛隊整列之図、錦絵大はん昌戯れ合戦、学問ノススメ、明治時代の貨幣、錦絵博覧会図、錦絵西郷涅槃像、党報号外 自由党、憲法発布略図、憲法発布祝ひ祭之図、帝国議会衆議院銘鑑、国会貴族院議員銘鑑、枢密院会議之図、ノルマントン号沈没事件、紀伊海難船之図、紀伊海難船芝居絵、紀州沖汽船沈没の場、紀州沖汽船沈没の場、陸奥宗光写真、日清海戦之図、朝鮮豊島海ニ於ル日清海戦我軍大勝利之図、芸州広島大本營之図、講和談判会見之図、講和使李鴻章談判之図、講和談判之図、日清両国之大官全公命能結平和之局、日露逐艦大激戦之図、有馬良橘写真、古写真(和歌山市俯瞰、和歌山県庁、エレベーター明光台、和歌山市公会堂、始成小学校、和歌山市立第一高等小学校、和歌山駅、紀ノ川鉄橋、市街電車、加太駅、日本赤十字社和歌山支部病院、和歌山紡織株式会社、和歌山測候所、火力発電所、本町通り、元寺町、弁天座の舞台)、和歌山市の偉人パネル(山葉寅楠、山田猪三郎、南方熊楠、由良浅次郎、高橋克己、松下幸之助)、古写真(国民学校、手旗信号、消防訓練、パケツリレー、慰問、勤勞奉仕、戦災本町方面、戦災公園前方面、戦災県庁方面、戦災西汀丁方面、堀詰橋、元寺町、城北橋、新通、美園町、和歌山市駅前、ぶらくり丁、宇治、和歌山城、代用マッチ、パン焼き器、紙製ヘルメット、千人針)。

※会期中、一部展示替えを行った。

○夏季特別展

「荘園の景観と絵図」 開催概要報告

〈開催期間〉

平成26年7月19日(土)～8月24日(日)

〈開催日数〉 32日間

〈入館者数〉 1,175人

〈開催趣旨〉

紀伊国は、畿内周辺に位置するため、早くから荘園制が発達し、多くの寺社領が分布した。12世紀に領域型荘園が成立すると、荘園では立券と同時に荘域を画く絵図が作成された。また、荘園では境界紛争、水論、山論など荘園間の相論の際にも絵図が作成された。

今回の特別展では、日本各地の代表的な荘園絵図を展示し、荘園絵図をとおして荘園の成立から解体までの歴史をたどるとともに、紀ノ川流域の柿田荘・井上本荘などの荘園絵図に画かれる荘園の景観を紹介し、中世の和歌山の地域像、荘園の人々の生活空間を明らかにしていきたい。



〈展示構成〉

I 荘園絵図の成立と展開

- (1) 立券絵図
- (2) 相論系絵図
 - (a) 訴陳絵図
 - (b) 相論絵図

(c) 和与絵図・下地中分絵図

(3) 開発絵図

(4) 荘園支配絵図

II 紀ノ川流域周辺の荘園景観と相論

(1) 柿田荘の景観と絵図

(2) 高野山領の荘園と絵図

(3) 井上本荘の景観と絵図

(4) 和歌山平野の荘園の様相

(5) 日根荘の景観と相論

〈特別講演会等〉

平成26年8月2日(土) 午後1時30分～

「荘園の立地環境と絵図」

額田雅裕(当館総括学芸員)

平成26年8月9日(土) 午後1時30分～

(※荒天のため中止)

「絵図に見る荘園景観とその保全」

吉田敏弘氏(國學院大學文学部教授)

< 展覧会図録 >

展示資料の写真、地図や解説などを掲載した特別展図録『荘園の景観と絵図』(A4版、96ページ、800円)を発行した。

〈協力者〉(五十音順、敬称略)

青山宏夫、泉佐野市教育委員会、逸木盛修、逸木菊子、円覚寺、大塚健、大津市歴史博物館、岡本隆明、甲斐玄洋、花岳寺、葛川息障明王院、神奈川県立金沢文庫、歓喜寺、木村篤邦、葛野常喜、宮内庁書陵部、京都府立総合資料館、高野山霊宝館、粉河寺、国立歴史民俗博物館、小島道裕、子安祐憲、目いち子、佐々木五大、慈眼院、神願寺、神護寺、随心院、須賀神社、胎内市教育委員会、大徳寺、高島緑雄、田中栄人、谷内弘照、中尊寺、東京大学史料編纂所、名出一光、長浜市長浜歴史博物館、新潟県立歴史博物館、東原直明、廣田浩治、藤本高全、寶來山神社、寶壽院、法隆寺、法輪寺、前嶋敏、前田正明、三河雅弘、水澤幸一、南寿明、向井彰啓、松田荘一郎、森和弘、森昌俊、森谷文子、山口香織、山地純、吉田敏弘、歴史館いずみさの、和歌山県立博物館、和中美喜夫

〈出陳目録〉

Ⅰ 莊園絵図の成立と展開

(1) 立券絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
1	紀伊国神野真国莊絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
2	紀伊国神野真国莊絵図 (写真)	1 枚	神護寺
3	備中国足守莊絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
4	備中国足守莊絵図 裏書 (複製、写真)	1 枚	国立歴史民俗博物館
5	神護寺寺領勝示絵図 (写真)	1 枚	神護寺

(2) 相論系絵図

(a) 訴陳絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
6	近江国葛川明王院領絵図 (写真)	1 鋪	葛川息障明王院
7	近江国菅浦与大浦下莊琳絵図 (写真)	1 幅	須賀神社
8	越後国奥山莊波月条絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館

(b) 相論絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
9	武蔵国鶴見寺尾絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
10	武蔵国鶴見寺尾絵図 裏書 (写真)	1 枚	神奈川県立金沢文庫
11	●山城国桂川用水差図	1 幅	京都府立総合資料館
12	法輪寺参詣曼荼羅 (写真)	1 枚	法輪寺

(c) 和与絵図・下地中分絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
13	伯耆国東郷莊下地中分絵図 (摸本)	1 幅	東京大学史料編纂所
14	薩摩国伊作莊日置北郷下地中分絵図 (摸本)	1 鋪	東京大学史料編纂所
15	薩摩国伊作莊日置北郷下地中分絵図裏面 (摸本)	1 鋪	東京大学史料編纂所
16	薩摩国伊作莊日置北郷下地中分絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
17	越後国荒河保与奥山莊絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
18	越後国荒河保与奥山莊絵図 裏書 (複製、写真)	1 枚	国立歴史民俗博物館
19	●伊予国弓削島莊下地相分差図	1 幅	京都府立総合資料館
20	伊予国弓削島莊下地相分差図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館

(3) 開発絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
21	和泉国日根野村絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
22	和泉国日根野村近隣絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
23	●丹波国大山莊用水差図	1 幅	京都府立総合資料館
24	丹波国大山莊用水差図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館

(4) 莊園支配絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
25	播磨国鶴荘絵図 (嘉暦図, 複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
26	播磨国鶴荘絵図 (至徳図, 複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
27	●摂津国垂水莊差図	1 幅	京都府立総合資料館
28	摂津国垂水莊差図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
29	播磨国小宅莊絵図 (文和図, 複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
30	播磨国小宅莊絵図 (貞治図, 複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
31	陸奥国骨寺村在家絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
32	陸奥国骨寺村絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
33	尾張国富田莊絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館
34	紀伊国高家莊絵図 (複製)	1 幅	国立歴史民俗博物館

Ⅱ 紀ノ川流域周辺の莊園景観と相論

(1) 栢田莊の景観と絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
35	紀伊国栢田莊絵図 (複製) 神護寺本	1 幅	当館
36	◎紀伊国栢田莊絵図 寶來山神社本	1 幅	寶來山神社
37	◎栢田莊四至勝示注文	1 卷	寶來山神社
38	紀伊国守護畠山家奉行人奉書	1 通	寶來山神社
39	◎慶安三年賀勢田莊絵図	1 幅	寶來山神社
40	慶安三年安藤帯刀殿寄合書	1 通	寶來山神社
41	静川山論内濟取り決め絵図	1 鋪	寶來山神社
42	静川賀勢田領境絵図	1 鋪	寶來山神社
43	東村水張番水注文 (写真)	1 枚	
44	栢田莊用水配分定状 (写真)	1 枚	
45	伊都郡移村預所墨引絵図	1 鋪	
46	賀勢田莊内紀伊川瀬替目論見絵図	1 鋪	
47	賀勢田莊絵図	1 鋪	寶來山神社
48	紀伊国名所図会 3編卷之二	2冊	当館
49	賀勢田莊新田絵図	1 鋪	寶來山神社
50	文覚上人像	1 幅	神願寺
51	文覚四十五箇条起請文 (写真)	2 枚	神護寺

(2) 高野山領の莊園と絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
52	伊都郡西郷村絵図	1 鋪	
53	高野山参詣曼荼羅 (写真)	2 枚	花岳寺
54	那賀郡貴志組絵図写	1 枚	当館
55	上天野・下天野・神田村絵図	1 枚	当館
56	名手莊麻生津莊山論裁許絵図	1 幅	
57	名手莊麻生津莊山論裁許絵図 裏書 (写真)	1 枚	

(3) 井上本莊の景観と絵図

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
58	紀伊国井上本莊絵図 (複製)	1 幅	当館
59	紀伊国井上莊絵図 (写真)	1 枚	寶壽院
60	随心院旧跡指図 (写真)	1 枚	宮内庁書陵部
61	□粉河寺四至伽藍之図	1 幅	粉河寺

(4) 和歌山平野の莊園の様相

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
62	紀伊国在庁官人等解案	1 紙	当館
63	○和佐莊下村雜掌公文連署和与状	1 卷	歡喜寺
64	○和佐莊公文得分公事注文	1 卷	歡喜寺
65	賀太浦魚配分状案	1 通	
66	賀太莊月別帳	1 冊	
67	賀太莊布海苔・十文錢日記	1 冊	
68	賀太本莊年貢等注進状	1 通	
69	賀太莊納帳	1 冊	
70	賀太莊米年貢納帳	1 冊	
71	検地帳	1 冊	
72	紀伊国国郡部全図	7 鋪	
73	加太村大字加太字図	31 枚	当館
74	実地丈量壹枚図	2 冊	当館

(5) 日根莊の景観と相論

番号	絵 図 名	員数	所 蔵 者
75	和泉国日根野村絵図 (複製)	1 幅	歴史館いずみさの
76	官宣旨 (写真)	1 枚	宮内庁書陵部
77	政基公旅引付 (写真)	1 枚	宮内庁書陵部
78	□日根野村上之郷村山論裁許絵図	1 枚	
79	□片桐且元裁許状	1 紙	
80	稲倉山論裁許絵図 (控図)	1 鋪	歴史館いずみさの

81	日根野村上之郷村川論絵図	1枚	慈眼院
82	大井関川瀬替証文写	1紙	慈眼院
83	日根野村領上之郷村山池之図	1枚	歴史館いずみさの
84	日根野村領上之郷村山池之図添付文書	1紙	歴史館いずみさの
85	□日根野井川用水絵図	1枚	
86	□日根野村絵図	1枚	
87	泉州大井関古絵図	1幅	慈眼院
88	日根野村佐野村用水相論文書	1冊	慈眼院

●国宝 ○重要文化財 ○県指定文化財
□市指定文化財

○秋季特別展

「江戸時代を観光しよう —城下町和歌山と寺社参詣—」 開催概要報告

〈開催期間〉

平成26年10月18日(土)～11月24日(月)



〈開催日数〉 33日間

〈入館者数〉 1,881人

〈後援〉 和歌山市観光協会

〈開催趣旨〉

平成26年は「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて10周年になる。観光地としての和歌山の歴史が注目されている。中世に盛んであった熊野三山の参詣を主目的とする旅は江戸時代に衰退するが、伊勢参りや西国三十三所観音巡

礼が盛んになり、その過程で多くの人が和歌山を訪れた。

この展覧会では、江戸時代の旅人の足跡をたどり、旅人が紀伊をどのように旅したのか、紀伊の人々がどのように旅人に接したのかを紹介する。和歌山市内の紀三井寺、和歌の浦、淡嶋神社や、和歌山県内の熊野三山、高野山金剛峯寺、粉河寺、道成寺、得生寺など多くの旅人が立ち寄った寺社、名所、温泉に関する資料を展示する。展覧会を通じて、和歌山の魅力を再発見する機会にしていたらと考えている。

〈展示構成〉

- I 旅行の時代
- II 熊野三山～紀三井寺をゆく
- III 和歌の浦～高野山をゆく
- IV 熊野参詣道の顕彰

〈特別講演会〉

10月25日(土) 午後1時30分～

「西国巡礼と紀三井寺」

前田泰道氏(紀三井寺副住職)

10月25日(土) 午後1時30分～

「江戸時代の旅の楽しみ」

塚本明氏(三重大学教授)

11月8日(土) 午後1時30分～

「江戸時代の和歌山観光」 佐藤顕(当館学芸員)

〈展示解説〉

11月3日(月)、11月24日(月)

午後1時30分～14時30分

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、地図や解説などを掲載した特別展図録『江戸時代を観光しよう—城下町和歌山と寺社参詣—』(A4版、104ページ、800円)を発行した。

〈協力者〉(五十音順、敬称略)

淡嶋神社、和泉市久保惣記念美術館、熊野本宮大社、神戸市立博物館、粉河寺、西光寺、総持寺、田辺市立美術館、天理大学附属天理参考館、切利天上寺、得生寺、豊橋市二川宿本陣資料館、奈良県立美術館、西尾市岩瀬文庫、橋本市郷土資料館、松阪市教育委員会、松阪市立歴史民俗資料館、明星院、本居宣長記念館、龍谷ミュージアム、和歌

山県立博物館、和歌山県立文書館、逸木盛修、伊藤昭治、伊藤浄巖、伊藤浄舟、稲畑ルミ子、乾誠二、大河内智之、岡崎崇、奥裕香子、小野田一幸、岸谷好子、北川久、吉備敏雄、後藤健一郎、佐藤眞里、杉山亜沙佳、杉山亜有美、瀬戸康治、高橋洋充、瀧北敬久、高市健次、竹中里得、辰巳充、田中千余子、田中哲夫、田野賢朗、塚本明、辻治雄、藤隆宏、中村努、秦野和夫、林知左子、藤井典弘、堀信子、前田泰道、前田光穂、松川綾子、村松加奈子、村山祈美、吉田悦之、和中美喜夫

〈出陳目録〉

I 旅行の時代

No.	資料名称	員数	所蔵者
1	長崎紀行	2冊	和歌山県立博物館
2	滑稽秋の空	1冊	個人
3	東海道中膝栗毛	4冊	和泉市久保惣記念美術館
4	東海道風景図会	2冊1帖	和泉市久保惣記念美術館
5	とろろ汁(複製)	1式	豊橋市二川宿本陣資料館
6	奈良茶飯(複製)	1式	豊橋市二川宿本陣資料館
7	東海道 箱根畑	大判1枚	和歌山県立博物館
8	東海道 江尻	大判1枚	和歌山県立博物館
9	富嶽三十六景 山下白雨	大判1枚	和泉市久保惣記念美術館
10	富嶽三十六景 諸人登山	大判1枚	和泉市久保惣記念美術館
11	三国第一山之図	大判3枚続	神戸市立博物館
12	富士詣独案内	大判3枚続	神戸市立博物館
13	伊勢参宮宮川の渡し	大判3枚続	豊橋市二川宿本陣資料館
14	伊勢参宮大井川の図	大判3枚続	和歌山県立博物館
15	伊勢参宮名所図会	1冊	和歌山県立博物館
16	御師邸内図	1面	本居宣長記念館
17	参宮上京道中一覽雙六	1枚	和歌山県立博物館
18	豊饒御蔭参之図	大判3枚続	和歌山県立博物館
19	おかげ参りの図	1幅	本居宣長記念館
20	笠	1点	松阪市教育委員会
21	柄杓	1点	松阪市教育委員会
22	他所寺社方配札ヶ所調帳	1冊	個人
23	伊勢曆	5点	個人
24	道中合羽	1点	松阪市立歴史民俗資料館
25	振分荷物	1点	松阪市立歴史民俗資料館
26	小田原提灯	1点	和歌山県立博物館
27	道中折畳燭台	1点	和歌山県立博物館
28	折畳道中枕	1点	和歌山県立博物館
29	印籠	1点	個人
30	矢立	1点	和歌山県立博物館
31	順礼道中記	1冊	和歌山県立博物館
32	旅行用心集	1冊	和歌山県立博物館
33	往来寺送一札之事	1通	個人

II 熊野三山～紀三井寺をゆく

No.	資料名称	員数	所蔵者
34	伊勢参宮道中記	1冊	和歌山県立博物館
35	西国三十三所方角	1鋪	和歌山県立博物館
36	伊勢大和まはり名所絵図道のり	1鋪	和歌山県立博物館
37	熊野三山図	1鋪	個人
38	西国三十三所名所図会	2冊	和歌山県立博物館
39	□那智参詣曼荼羅	1幅	明星院
40	○神額	1面	熊野本宮大社
41	神鏡	1面	熊野本宮大社
42	熊野縁起絵巻	2巻	和歌山県立博物館
43	御神宝・仏像仏画・繪旨・御教書・御幸之式・御建立年代	1冊	和歌山県立博物館
44	牛玉宝印版木	1面	熊野本宮大社
45	祈請文	1通	和歌山県立博物館
46	熊野三山修復につき寺社奉行勅化許状	1通	熊野本宮大社
47	公辺願添之條々	1冊	和歌山県立博物館
48	熊野三山貸付所に関する願書	4冊	和歌山県立博物館
49	熊野三山参道中入用控	1冊	和歌山県立博物館
50	諸国温泉一覽	1枚	豊橋市二川宿本陣資料館
51	伊達千広和歌 湯峰三首	1幅	和歌山県立博物館
52	姫比花雄栗実記	大判2枚続	和歌山県立博物館
53	小栗宗丹実八判官	大判3枚続	和歌山県立博物館
54	湯崎七湯之図	1巻	個人
55	白良浜古歌	1幅	和歌山県立博物館
56	京鹿子娘道成寺	大判3枚続	和歌山県立博物館
57	京鹿子娘道成寺	大判1枚	和歌山県立博物館
58	道成寺縁起	双幅	個人
59	道成寺門前茶屋江旅人宿為致度段同寺願二付小松原村取調一件	1冊	個人(和歌山県立文書館寄託)
60	中将姫坐像	1軀	得生寺
61	中将法如御一代画伝	1巻	得生寺
62	□当麻曼荼羅	1幅	絵持寺
63	紀三井寺参詣曼荼羅(複製)	1幅	和歌山県立博物館
64	和歌浦図巻	1巻	個人
65	吉野和歌浦真景図巻	1巻	和歌山県立博物館
66	和歌浦図	1幅	和歌山県立博物館

III 和歌の浦～高野山をゆく

No.	資料名称	員数	所蔵者
67	名所図画	1巻	和歌山県立博物館
68	永承三年高野御参詣記	1冊	和歌山県立博物館
69	衣通姫像	1幅	個人
70	和歌浦巖島図屏風	六曲一双の右隻	奈良県立美術館
71	玉津嶋輿窟図	1幅	田辺市立美術館
72	玉津嶋奠供山望海楼記	1冊	個人
73	笈の小文	1冊	西尾市岩瀬文庫
74	芭蕉翁ノ図	1幅	個人
75	天保風俗画	1巻	和歌山県立博物館
76	日本国々繁花角力	1枚	和歌山県立博物館
77	西国道中記	1冊	天理大学附属天理参考館
78	順礼道中日記	1冊	天理大学附属天理参考館
79	笈摺	1点	橋本市郷土資料館
80	松江浦射的場真景図	1巻	個人
81	紀州高野山ヨリ加太越讃州金毘羅江近道略図	1枚	和歌山県立博物館
82	象頭山参詣道紀州加田ヨリ讃岐廻并播磨名勝附	1枚	和歌山県立博物館

83	高野山を紀州加田越四国札所本道筋并二讃州金毘羅近道順路	1枚	個人
84	高野山を金毘羅へ道中ちかみち	1枚	個人
85	紀州加太越金毘羅近道	1枚	和歌山市立博物館
86	諸国名所百景 紀州加田の浦真景	大判1枚	和歌山市立博物館
87	東海道名所之内 紀州加太浦	大判1枚	和歌山市立博物館
88	南紀高野山を和歌山権現加田淡嶋大明神参詣道之記	1冊	個人
89	加太淡嶋遷宮行事	1冊	淡嶋神社
90	今度寺社御改二付差上候覚控	1冊	淡嶋神社
91	諸事控帖	1冊	淡嶋神社
92	加太淡嶋大明神但馬国朝来郡竹田町諏訪明神境内江勸請に付諸事留帳	1冊	淡嶋神社
93	江戸勸請一件諸願書御返之留	1冊	淡嶋神社
94	絵馬 加太浦図	1面	淡嶋神社
95	紀州加田淡嶋開帳 流行役者取持の図	大判1枚	和歌山市立博物館
96	開帳加田淡嶋大明神	大判3枚続	和歌山市立博物館
97	順礼改道鑑	1冊	個人
98	じゅんれいえんぎ	1冊	個人
99	西国順礼記	1冊	個人
100	道しるべ	1冊	個人
101	順礼き	1冊	個人
102	じゅんれいえんぎ	1冊	個人
103	指南車	1冊	個人
104	増補指南車	1冊	個人
105	新增補細見指南車	1冊	個人
106	西国順礼道中記	1冊	和歌山市立博物館
107	月参講	1冊	個人
108	紀州那賀郡田中荘竹房阿字観音山新八拾八ヶ所細見之絵図	1枚	和歌山市立博物館
109	粉河寺参詣曼荼羅	1幅	粉河寺
110	元禄本 紀州粉河寺縁起	2冊	粉河寺
111	覚(横渡無銭往来致し度につき)	1通	個人(和歌山県立文書館寄託)
112	高野山細見絵図	1鋪	個人
113	高野山全景図	1幅	個人
114	高野山大火之図	1枚	個人
115	太政官符案并遺告写	1巻	和歌山市立博物館
116	○苺萱道心坐像	1軀	学文路苺萱堂
117	○石童丸坐像	1軀	学文路苺萱堂
118	○千里ノ前坐像	1軀	学文路苺萱堂
119	苺萱桑門・石動丸	大判2枚続	和歌山市立博物館
120	苺萱道心・石動丸・秋ノ方	大判2枚続	和歌山市立博物館
121	玉屋の看板	1面	学文路苺萱堂
122	旅籠屋の食事(複製)	1式	豊橋市二川宿本陣資料館
123	○蛇柳	1点	学文路苺萱堂
124	美人画看板	1面	個人(橋本市郷土資料館寄託)
125	饅頭看板	1面	個人(橋本市郷土資料館寄託)

IV 熊野参詣道の顕彰

No.	資料名称	員数	所蔵者
126	徳川頼宣肖像	1幅	和歌山市立博物館
127	南紀略志	1巻	和歌山市立博物館
128	栗林八幡宮参拝御行列図	1巻	和歌山市立博物館
129	熊野略記	1冊	和歌山市立博物館
130	紀南郷導記	1冊	和歌山市立博物館
131	殿様熊野江御成之節日高郡原谷村小松原村二而人馬肝煎御扶持方請取帳	1冊	個人

132	国君熊野詣での折、浅井某の吟詠写	1冊	和歌山市立博物館
133	熊野道中記	1冊	西尾市岩瀬文庫
134	青緑那智瀑布図(桑山玉洲)	1幅	田辺市立美術館
135	桑山玉洲肖像	1枚	和歌山市立博物館
136	那智三瀑図(野呂介石)	1幅	和歌山市立博物館
137	熊野那智瀑布図(徳川治宝)	双幅	切利天上寺
138	紀州名勝志	1冊	和歌山市立博物館
139	熊野巡覧記	3冊	個人
140	南紀和歌山より那智山まで海陸名所旧跡並道法案内	1冊	和歌山市立博物館
141	紀路草名所歌集	1冊	個人
142	熊野独参記	1冊	和歌山市立博物館
143	南紀名所略記	1冊	個人
144	紀伊国名迹志	1冊	和歌山市立博物館
145	熊野道之記	1冊	個人
146	熊野遊記・熊野名勝図画	3冊	和歌山市立博物館
147	三山記略	1冊	和歌山市立博物館
148	熊野日記	1冊	和歌山市立博物館
149	本居内遠肖像	1幅	和歌山市立博物館
150	木国七郡神名帳	1冊	和歌山市立博物館
151	柿園詠草	2冊	和歌山市立博物館
152	熊野別当系図	1冊	和歌山市立博物館
153	紀伊国式内神社考草稿	1冊	和歌山市立博物館

○県指定文化財 □市指定文化財

○冬季特別陳列

『歴史を語る道具たち』 開催概要報告

〈開催期間〉

平成27年1月14日(水)～3月1日(日)

〈開催日数〉 41日間

〈入館者数〉 4061人(学校見学58校、2838名)

〈開催趣旨〉

人々は生活をする上で必要な道具をつくり、改良を重ねてきた。現在では科学の技術を駆使してさまざまな道具を機械化したことで、私たちの生活における利便性は飛躍的に向上した。しかし、それらの便利な道具がない時代は、人々はどのようにして生活していたのだろうか。

本館では開館以来多種多様な生活用具や農具を寄贈いただいている。それらの道具の中には長い歴史がはぐくんだ人間の叡智や努力、工夫の跡が隠されている。これらの資料を活用し、先人たちの生活の様子や知恵を学ぶ機会にするため、本展覧会を開催した。

〈展示構成と主な展示資料〉

1 くらしの道具

たらい、蓄音機、黒電話、みのなど

- 2 遊びと勉強
めんこ(ケン)、お手玉、教科書など
- 3 あかりの道具
行灯、ランプ、提灯など
- 4 食事の道具
羽釜、氷冷蔵庫、箱膳、徳利など
- 5 はかる道具
竿ばかり、看貫ばかり、枡など
- 6 あたたまる道具
火鉢、湯たんぽ、こたつなど
- 7 米作りの農具(常設展示)
鍬、田植え定規、千歯こき、唐箕など
総展示点数 約150点

〈ワークシート〉

本展示会は、小学校3・4年生の社会科「今にのこる昔とくらしのうつりかわり」(日本文教出版『小学社会』3・4年上)の単元に対応しており、小学校の団体による見学が多い。そのため、展示をより理解してもらうための小学生用のワークシート(オールカラー・全8ページ)を作成し、無料配布した。

○ホール展示

「描かれ写された和歌山大空襲」

〈開催期間〉

平成26年7月5日(土)～7月13日(日)

〈開催期間〉 8日間

〈開催趣旨〉

1945(昭和20)年7月9日深夜、アメリカ軍の爆撃機B29が108機、和歌山市を襲った。この和歌山大空襲により、国宝の和歌山城をはじめ市街地の大半が焼失し、1,100人以上の方が亡くなり、負傷者は4400人以上にのぼった。本市の歴史において、これほど悲惨な日はなかったし、今後もないようにしなければならない事件である。

本館では空襲の実態を知っていただくため、和歌山大空襲の体験を描いた絵巻や戦災の状況を写した絵や写真パネルを、当館の玄関ホールにて展示した。貴重な資料をご寄贈くださいました皆様

方に、心からお礼を申し上げます。

〈展示資料〉

- ① 井田敬之助氏画「和歌山大空襲体験絵巻」 1巻
- ② 八幡三郎氏画「和歌山大空襲後の戦災風景」 4枚
 - ・本町4丁目から和泉山脈を望む図 2枚
 - ・ブラクリ丁から丸正百貨店を望む図 1枚
 - ・砂の丸石垣から和歌山港を望む図 1枚
- ③ 和歌山大空襲後の戦災や復興の写真 12枚

〈関連行事〉

「映画「和歌山大空襲」と写真に見る戦後の復興」
7月5日(土) 13時30分～ 2階講義室

○コーナー展示

平成20年度から常設展示室の民俗及び近世部門の展示ケースの一部を利用し、コーナー展示を行っている。これは一つのテーマを決めて資料を紹介するミニ展示である。本年度のコーナー展示は以下のとおりである。

期 間	テーマ	備 考
4月1日(火) }	幕末維新期の若者たち	幕末維新期に活躍した紀州出身者について展示。
6月1日(日)	川辺遺跡の考古資料	市内の川辺遺跡の出土品を展示。
6月24日(火) }	紀州の鉄砲	紀州の鉄砲鍛冶によって作られた鉄砲を展示。
8月3日(日)	華岡青洲	江戸時代の医師・華岡青洲についての展示。
8月5日(火) }	ヘンリー杉本と日系人収容所	第二次大戦中のアメリカの日系人収容所に関する資料を展示。
9月28日(日)	紀州の武術	江戸時代の紀州の武術に関する資料を展示。
9月30日(火) }	絵図にみる友ヶ島	友ヶ島の絵図や修験道に関する資料を展示。
11月30日(日)	戦国の雑賀衆	戦国期の雑賀衆に関する資料を展示。
12月2日(火) }	絵画にみる米づくり	米作りを描いた屏風を展示。冬季特別陳列に対応。
3月29日(日)	江戸時代の古地図	江戸時代の日本図や紀伊半島の絵図を展示。

2. 教育普及事業

○史跡散歩

第43回「巡礼の道を歩く」

- ・日 時 11月22日(土) 午後1時～4時
- ・参加者 9人
- ・参加費 400円(保険料等)
- ・行 程 JR紀三井寺駅→紀三井寺→旭橋→妹背山→不老橋→玉津島神社→奠供山→紀州東照宮→宗善寺→五百羅漢寺

※徒歩距離約6km

江戸時代はさかんに旅行が行われた時代だった。和歌山市域では、特に西国三十三所観音霊場の二番札所である紀三井寺や和歌の浦、和歌山城下が多くの旅人でにぎわっていた。今回の史跡散歩では、江戸時代の旅人の足跡をたどり、紀三井寺・和歌の浦周辺を巡った。

○体験学習

1 「勾玉を作ろう」

- ・日 時 平成26年8月22日(木)
午後1時30分～3時30分
- ・場 所 2階体験学習室
- ・参加者 22名
- ・参加費 300円

勾玉(まがたま)は、おもに日本の古墳時代頃まで作られていた装身具の一つである。Cの字形に曲がった形をしていて、穴に紐を通して首からさげたりした。

今回の体験学習では、蠟石を紙やすりで削って勾玉の形を作り、最後に丁寧に磨き上げ、更に色を染めて、自分だけのオリジナル勾玉を作ってもらった。

2 「むかしの遊びを体験しよう」

- ・日 時 平成26年8月30日(土)
午後1時～4時30分
- ・場 所 1階玄関ホール
- ・参加者 16名

- ・参加費 無料

現代の子どもたちには馴染みの薄い独楽や羽子板、竹馬といった昔のおもちゃを用意し、自由に遊んでもらった。これらのおもちゃで遊ぶことを通じて、むかしの生活や、シンプルに作られたおもちゃの面白さを体験してもらった。

3 「わりばしてっぼうで遊ぼう」

- ・日 時 平成27年1月17日(土)
午後1時～4時30分
- ・場 所 1階玄関ホール
- ・参加者 17名
- ・参加費 無料

「わりばしてっぼう」は、わりばしと輪ゴムだけで作る、昔なつかしい手作りのおもちゃである。今回は、まず、割り箸を色々な長さに切って、輪ゴムで鉄砲を組み立ててもらい、そして出来上がった「わりばしてっぼう」で、輪ゴムの弾丸を使って射撃遊びを行った。このように「わりばしてっぼう」を通して、昔の遊びを体験してもらった。

4 「蓄音機で音楽を聴こう」

- ・日 時 平成27年2月21日(土)
午後1時～4時30分
- ・場 所 1階玄関ホール
- ・参加者 20名
- ・参加費 無料

特別陳列「歴史を語る道具たち」の関連事業として開催した。ゼンマイ式の蓄音機を体験することで、電力を使わずに動くしくみを学んでもらい、同時にデジタルではないアナログの音色を聴いてもらった。

○市博講座 —紀ノ川の歴史—

- ・日 時 平成26年1月24日～2月14日の
毎土曜日 午後1時30分～3時
- ・場 所 2階体験学習室

紀ノ川は大台ヶ原を水源とし、和歌山県北部を西流する川である。流域には様々な遺跡や寺社な

どがあり、原始時代から現在まで和歌山の歴史に大きな影響を与えてきた。今回の市博講座は、このような「紀ノ川」をテーマとして取り上げ、この川と和歌山の人々がどのようにかかわってきたのかを4回に分けて検証した。

・個別テーマ及び参加者

開催日	テーマ	参加者
1月24日(土)	紀伊湊と水軍	41名
1月30日(土)	紀ノ川の移り変わり	29名
2月7日(土)	紀ノ川出土の銅鐸	27名
2月14日(土)	文政期の百姓一揆	28名

○古文書講座

1 かな文字入門

- ・時 間 午後1時30分～3時
- ・場 所 2階講義室
- ・参加者 63名(4回連続で参加)
- ・参加費 100円(4回分のテキスト代)

古文書を勉強したいという市民のニーズに応えるため、古文書解読講座を行った。かな文字入門と銘打った今回は、寺子屋で用いられたひらがなで書かれたテキストを読み、ひらがなのくずし字が解読できるようになること目指した。

開催日	テーマ
5月10日(土)	かな文字のなりたち
5月17日(土)・ 24日(土)	寺子屋のテキストを読む
5月31日(土)	和歌を読む

2 漢字をよもう

- ・時 間 午後1時30分～3時
- ・場 所 2階講義室
- ・参加者 47名(4回連続で参加)
- ・参加費 100円(4回分のテキスト代)

古文書に対する市民のニーズの高さに鑑み、秋季も古文書解読講座を開催した。今回は、古文書のなかでも解読が比較的容易な証書類をテキストにし、くずし字の解読とともに、和歌山の地域史に対する理解を深めることも目指した。

開催日	テーマ
9月20日(土)	証文を読む
9月27日(土)	宗門改を読む
10月4日(土)	防災関係(消防)の古文書を読む
10月11日(土)	防災関係(消防)の古文書を読む・ 続

○キッズトライアル

一休館日の博物館を探検しようー

- ・日 時 平成26年8月4日(月)
午後1時～3時
- ・参加者 39名(保護者含む)

平成25年度から、夏休み中の休館日を利用して、子ども向けに博物館のバックヤードや展示替えの作業をみていただく行事として開催している。普段はケース越しに見る資料を間近で見られる企画として開催した。

○校区探検

「高松を歩く」

小学校区内の史跡などを巡る校区探検は例年行なっている。今回は高松小学校区で、区内にある史跡や文化財を探訪し、自分たちが住む身近な地域の歴史や文化について理解を深めるため、下記のとおり校区探検を実施した。

- ・日 時 平成26年11月15日(土)
午前9時30分～11時30分
 - ・参加者 22名
 - ・行 程 高松小学校→宇須井原神社→高松寺→高松交差点→円珠院近辺→真光寺→浄心寺→高松小学校
- ※徒歩距離約3.8km

○回想法プログラム

今年度より、新たな試みとして、冬季特別陳列「歴史を語る道具たち」の会期中を中心に高齢者向け「回想法プログラム」を実施した。「回想法」とは、1960年代にアメリカの精神科医によって提唱された非薬物療法の一つで、高齢者が昔の懐かしい記憶や楽しかった思い出を振り返ることによって、脳を活性化させる心理・社会的アプローチである。認知症の予防やその進行を遅らせたりする効果があることから、全国的に広まりつつあ

る。そこで今回、高齢者福祉施設の方を対象に、昔の生活道具に実際に触れていただくコーナー「回想法ルーム」を新たに設けた。高齢者の方が、懐かしい生活道具(昭和30～40年代中心)を見て触れることで、昔の記憶を呼び起こしてもらい、「回想法」の一助として、介護予防に役立てていただくよう、本プログラムを実施した。

〈実施期間〉

平成27年1～3月

〈利用者数〉

261人(24施設：利用者179人・介護者82人)

○博物館実習

大学における博物館学芸員資格取得課程の実習館として毎年実施している。平成26年度は8月18日(火)から22日(土)までの5日間実施した。実習生は和歌山大学5名、近畿大学1名の計6名である。実習内容は以下のとおり。

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 8月18日(火) | 館内施設・特別展案内
武器武具の取り扱い方 |
| 8月19日(水) | 郷土玩具資料の整理
地図資料の整理 |
| 8月20日(木) | 美術工芸資料の取り扱い方
体験学習の補助 |
| 8月21日(金) | 近世・近代の整理Ⅰ
近世・近代の整理Ⅱ |
| 8月22日(土) | 中世文書の整理Ⅰ
中世文書の整理Ⅱ
実習レポート作成 |

【博物館実習受け入れに関する内規】

- 1 本館において博物館実習の受講を希望するものは、次のすべてをみたすものに限る。
 - (1) 受講を希望するものの所属する大学から依頼のあったものであること。
 - (2) 和歌山県内出身者または和歌山県内の大学に在籍する学生であること。
 - (3) 専攻分野が人文科学系であること。
 - (4) 実習を受講する前年までに、博物館施行規

則第1条に掲げる博物館概論・博物館経営論・博物館資料論・博物館情報論に相当する課目を履修済みであり、かつこれ以外の科目をすべて当該年に取得できる見込みのあること。

- 2 実習生の受け入れ定員は20名以内とする。
 - 3 館長が特に認めた場合は、この限りではない。
- 内規 平成11年4月1日
改正 平成19年4月1日

○ミュージアムボランティア

平成20年度から、和歌山大学教育学部よりミュージアムボランティアの受け入れを行っている。受け入れについては、担当学芸員と学生ボランティアとが相互に調整をつけ行った。活動内容は、博物館資料の整理補助、体験学習の補助等であった。

○職場体験

平成23年度より、中学生の職場体験を受け入れしている。本年度の職場体験校は、和歌山大学教育学部附属中学校2年生・2名(10月1～3日：3日間)、西脇中学校2年生・4名(10月28～30日：3日間)、東中学校2年生・4名(11月11～13日：3日間)の3校、計10名を受け入れた。体験内容は、博物館の受付業務、監視業務、展示ケースの清掃、博物館資料の整理、調書作成、小展示作成、それに付随するキャプション、フライヤーの作成等である。

○ホームページ

平成10年度に本館ホームページを和歌山市HP内に開設して以来、コンテンツを改定・補充してきた。その後、平成16年7月から、館として新たに独自ドメインを取得、オリジナルホームページを作成、運営を行うこととした。平成22年度より、

ドメイン名の変更とともに、大幅なリニューアルを行った。アクセス数も着実に増えており、オリジナルホームページも開設10年目の節目を迎え確実に成果を上げている。

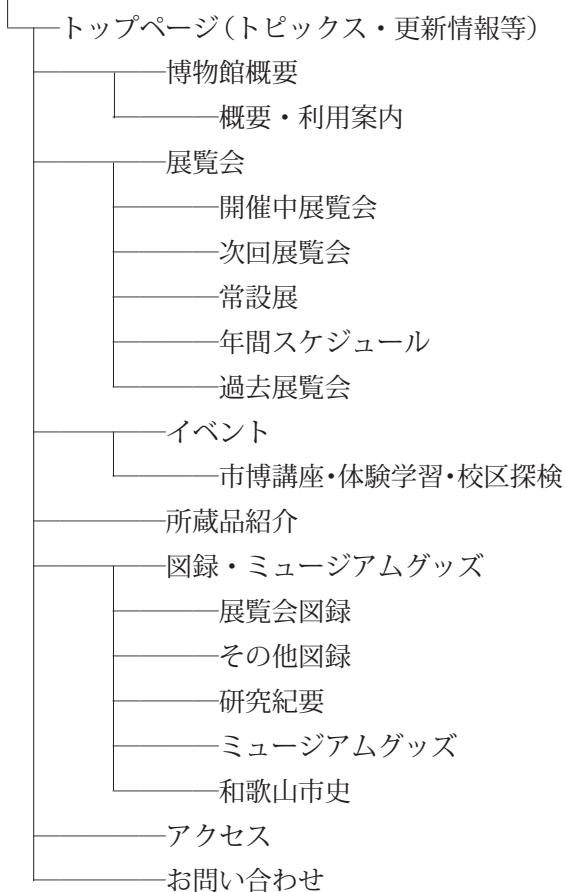
また、平成26年度から新たな試みとして、和歌山市立博物館公式Twitter(ツイッター)を開設した。定期的に展覧会や行事の情報を発信しており、フォロワー数も順調に増加している。

- ・ 和歌山市立博物館オリジナルホームページ
(平成 27 年 4 月現在)

<http://www.wakayama-city-museum.jp>

系統図

フロントページ(アクセスカウンター)



- ・ 和歌山市立博物館公式 Twitter(ツイッター)
(平成 27 年 4 月現在)

https://twitter.com/w_city_hakubuts

3. 調査研究事業

○職員の執筆文献

寺西 貞弘

2014.5. 「牟漏女王に関する憶測」、『熊野歴史研究』19号、熊野歴史研究会

2014.7.8 『歴代天皇125代総覧』、新人物文庫、kadokawa

2014.8.12 『歴代皇后125代総覧』、新人物文庫、kadokawa

2014.11.1 「血書について」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館

2015.3.1 「城下町和歌山と国学一本居宣長と和歌山の人々」、『和歌山地方史研究』67号、和歌山地方史研究会

2015.3.31 「三栖廃寺から見た地方の白鳳仏教」、『田辺市文化財』51号、田辺市教育委員会

高橋 克伸

2014.11.1 「佐藤寛吾写『華岡門人姓名録』について・下」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館

2015.3.8 「紀州藩主の景観一文献にみる二之丸大奥の穴蔵について」、公開シンポジウム『和歌山城と城下町の風景』資料集、(公財)和歌山県文化財センター

額田 雅裕

2014.6.26 「紀伊太田城攻め」、『戦国の城を攻める!』、洋泉社MOOK.

2014.7.19 「荘園の立地環境と絵図」、『荘園の景観と絵図』、和歌山市立博物館特別展図録

2015.3.8 「名所図会にみる和歌山城・城下町の風景」、公開シンポジウム『和歌山城と城下町の風景』資料集、(公財)和歌山県文化財センター

太田 宏一

2014.11.1 「七右衛門家・早川家の火縄銃と「紀州筒」」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館

近藤 壮

- 2014.11.1 「中国画譜と日本文人画—祇園南海の場合—」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館
- 2014.11.20 「『赤坂御庭図』の世界」、『赤坂御庭図画帖』、和歌山市立博物館
- 2015.3.2 「花鳥図 山口宗季(呉師虔)」 「雪中雉子之図 座間味庸昌(殷元良)」、小学館創業90年記念企画『日本美術全集』第6巻(板倉聖哲編「東アジアのなかの日本美術」)、小学館
- 2015.3.31 「堀田龍之助編・森関山筆『水族図譜』(一)」、『和歌山市史研究』43号、和歌山市立博物館

武内 善信

- 2014.11.1 「和歌山城西の丸及び「西之丸庭園」について」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館

山下 奈津子

- 2014.11.1 「紀州徳川家における女中採用についての試論」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館
- 2015.3.1 「史料紹介 三浦家文書にみる養珠院関連の書状について」、『和歌山地方史研究』67号、和歌山地方史研究会
- 2015.3.31 「史料翻刻『類集略記』補一上使・小名代・御忌筋・御法事・服御改・殿中編(六)」、『和歌山市史研究』43号、和歌山市立博物館

佐藤 顕

- 2014.10.18 『江戸時代を観光しよう—城下町和歌山と寺社参詣—』、和歌山市立博物館特別展図録

小橋 勇介

- 2014.7.19 「和歌山平野の荘園」、『荘園の景観と絵図』、和歌山市立博物館特別展図録
- 2014.11.1 「中世～近世初期における伽陀寺について」、『研究紀要』29号、和歌山市立博物館
- 2015.3.31 「加太・向井家文書所収の葛城修験史料(二)」、『和歌山市史研究』43号、和歌山市立博物館

4. 市史資料管理事業

平成4年度末に事業を完了した和歌山市史編纂事業の残務を引き継いだ事業である。主な業務は、『和歌山市史』残部の販売、他都市交換市史の受入、市史編纂過程で蒐集した資料の保存と整理、保存資料の活用方法の調査研究、『和歌山市史研究』の発行である。

平成26年度も、「類集略記」をはじめ、さまざまな資料の翻刻・紹介を『和歌山市史研究』43号に掲載した。

II 収蔵資料概要

1. 購入資料概要

本館では計画的に郷土の歴史等に関する資料を購入している。本年度は歴史資料3件、美術工芸資料1件の合計4件の資料を購入した。いずれも展示や研究に活用していく予定である。

●歴史

加納廻漕店引き札	1枚
西ノ庄村絵図	1舗
御世話筋秘曲	1枚

●美術工芸

名所図画	1巻
------	----



名所図画(部分)

2. 受贈資料概要

本年度は歴史資料15件、美術工芸資料4件、民俗資料6件を御寄贈いただいた。今後大切に保管し、展示や研究に有効に活用したい。

●歴史

行李はじめ	136点	高山 巧
軍服外套はじめ	8点	渋谷 壽通
系譜類	一括	上野正美・小林博士
近代武術関係資料	一括	上野正美・小林博士
小物類・鎗箱	一括	上野正美・小林博士
『実験 日本修身書』	1冊	高田 奈津子
地券	2枚	高田 奈津子
和歌浦の記	1帖	高田 奈津子
拓本(折本)	4帖	高田 奈津子
慶長六年検地帳写はじめ	20点	武内 雅人
軍事郵便はがき	1枚	大林 祐二
理髪試験合格証書	1枚	大林 祐二
ゲートル	2点	宮原 正
藩札はじめ	8点	中村 健
総本家駿河屋菓子木型等	一括	
		破産管財人弁護士 阪本 康文

●美術工芸

甲冑	一式	上野正美・小林博士
刀剣	3口	上野正美・小林博士
墨竹御染筆はじめ	12点	
		滋野広・有本英子・滋野ます美
長春図 川端龍子筆	1点	平川 保子

●民俗

消防ポンプ(龍吐水)	1点	紙谷 俊行
テレビ	1台	森田 勇
石盤はじめ	8件9点	中村 健
竿ばかり	1点	宮原 正
吊ばかり	1点	宮原 正
ランドセル(女児用)	1点	田中 一富

3. 受贈図書概要

平成26年度に本館に寄贈された図書は以下のとおりである。

研究紀要 42	北海道開拓記念館・北海道開拓の村 北海道の地域住民と博物館をつなぐミュージアム・エージェン ト	北海道博物館友の会設立実行委員会 旭川市博物館
研究報告 6	アイヌの工芸—東北のコレクションを中心に—	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構
アイヌの昔話	フキノトウになった女の子	〃
イソイタク2	アイヌの昔話	〃
	カムイを射止めた男の子	〃
紀要 26	根室市歴史と自然の資料館	根室市歴史と自然の資料館
調査研究報告 34		仙台市博物館
年報 41		〃
平成25年度年報		東北歴史博物館
研究紀要 15		〃
紀要 46	東北学院大学東北文化研究所	東北学院大学東北文化研究所
年報	秋田県立博物館	秋田県立博物館
福島市史資料叢書第94輯	福島市誌 I	福島市教育委員会
団子山古墳 1	福島県須賀川市団子山古墳測量調査・物理探査 ・発掘調査報告書	福島大学行政政策学類考古学研究室
第108回企画展	江戸時代文人画の彩り ～高久靄厓とその師 友～	栃木県立博物館
研究紀要—人文— 31		〃
調査研究報告書	県内の文化財の三次元計測	〃
平成26年度企画展	江戸とつながる川の道—近世下野の水運—	〃
研究紀要 18		栃木県立文書館
スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり		足利市立美術館
紀要 35		群馬県立歴史博物館
鏡よかがみ	人々の心を支えた鏡たち	
		高崎市観音塚考古資料館
<盆栽>の物語	古代から現代まで—盆栽のたどった歴史	
		さいたま市大宮盆栽美術館
The Story of "Bonsai" The History of Bonsai from ancient times the present		〃
年報 4		〃
盆山 BONSAN—屏風に息づく中世の盆栽		〃
伊能茂左衛門家資料目録		国立歴史民俗博物館
国際企画展示	文字がつなぐ 古代の日本列島と朝鮮半島	〃
		〃
開館30周年記念行事記録集		〃
野村コレクション服飾II		〃
弥生ってなに?!		〃
歴博 184~188		〃
平成25年度春の展示「水辺の記憶—写真家 林辰雄のまなざし —」解説書		千葉県立中央博物館
研究紀要 20		千葉県立郷土博物館
平成24年度 館報		市立市川歴史博物館
平成25年度特別展	安房の干鯛—いわしと暮らし、いわしでつ ながる—	館山市立博物館
平成26年度企画展図録	新・地区展 北条—にぎわう安房の玄 関口—	館山市立博物館
平成26年度特別展	里見氏の遺産・城下町館山	〃
平成26年度特別展第II期	里見氏の遺産・古文書	〃
収蔵文書目録第28集	東金市台方 前嶋家文書目録 4	

	千葉県文書館	美術研究 411～413	〃
千葉県の文書館 20	〃	新撰組誕生と清河八郎 日野市立新撰組のふるさと歴史館	〃
研究報告 18	千葉県立関宿城博物館	幕末の動乱—開国から攘夷へ—	〃
通運丸で結ばれた関宿・野田・流山—海運へのターニングポイント—	〃	日野市立新撰組のふるさと歴史館叢書 12	〃
平成25年度マリンサイエンスギャラリー「海藻いろいろ—千葉県の豊かな海から—」展示解説書	千葉県立中央博物館分館 海の博物館	「國華清話会」会報 23・24	國華社・國華清話会
	〃	Role of Buddhism in the 21st Century (財)国際仏教興隆協会	〃
研究紀要 5	郵政博物館資料センター	ふたつの双羊尊—根津美術館と大英博物館の名品—	根津美術館
野田で生まれた漫画たち	野田市郷土博物館	此君 5・6	〃
年報・紀要 6	〃	名画を切り、名器を継ぐ—美術にみる愛蔵のかたち—	〃
紀要 65	宮内庁書陵部	手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから	〃
紀要 65(陵墓編)	〃		NHKプロモーション
調査報告書 28 隅田川と本所・向島—開発と観光—	〃	手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから 別冊図録	〃
	東京都江戸東京博物館	研究紀要 2	サントリー美術館
紀要 4	〃	時空旅人 24 大坂・冬の陣夏の陣 (株)プラネットライツ	〃
馬込文士村—あこのころ、馬込は笑いに充ちていた—	〃	歴史人 47	KKベストセラーズ
	大田区立郷土博物館	高野山 1200年の史実	三栄書房
紀要 29	品川区立品川歴史館	殿様は「明治」をどう生きたのか	洋泉社
品川から世界へ サムライ海を渡る—幕末明治の日本と外交使節団—	〃	歴史ドキュメント 刻一刻 2・5	〃
旧太子堂村 森家文書 御用留 1 世田谷叢書 8	世田谷区立郷土資料館		デアゴスティーニ・ジャパン
	〃	花の文化 その2	誠文堂新光社
大館蔵品展	〃	逆説の日本史⑤ 真説秀吉英雄伝	小学館
生活と文化 23	豊島区立郷土資料館	ビジュアルワイド図解 日本の合戦	西東社
橘屋一家のモノ語り	調布市郷土博物館	歴史読本 2014年9・12月号	KADOKAWA
研究紀要 19	出光美術館	歴代天皇125代総覧	〃
三井美術文化史論集 7	三井記念美術館	戦国武将必勝の戦法	メディアミックス
東山御物の美—足利將軍家の至宝—	〃	漢文の読みかた	岩波書店
研究報告2014 國學院大學研究開発推進機構学術資料センター	〃	加納宗七伝	朱鳥社
史学研究集録 39 國學院大學大学院日本史学専攻大学院会	〃	オールカラーでわかりやすい! 戦国史	西東社
紀要 39	國學院大學博物館学研究室・法学会	近畿の城郭	戎光祥出版
館報 12	実践女子学園香雪記念資料館	熱風の日本史	日本経済新聞出版社
MUSEOLOGY 33	実践女子大学(学園)・博物館学課程	日本歴史 792・797	日本歴史学会
博物館実習報告 30	お茶の水女子大学	光琳を慕う—中村芳中	芸艸堂
館報 28	外務省外交史料館	「平成25年度 学校内歴史資料室を活用した博物館デビュー支援事業」年報	〃
古代 132～136	早稲田大学考古学会・文学学術院	ハマの東海道	〃
史観 170・171	早稲田大学史学会	横浜市立大学コレクション 古地図の世界 地球のかたちと万国の大地	〃
美術史研究 51・52	早稲田大学美術史学会	紀要 18	〃
年報2013年度	明治大学博物館事務室・学芸員課程	資料目録 22	〃
紀要 25	〃	調査研究報告 10	〃
年報 29	〃	絵巻でみる事件 百姓—揆絵巻/火事図巻	〃
藩領と江戸藩邸 ～内藤家文書の描く磐城平、延岡、江戸～	明治大学博物館事務室・学芸員課程・刑事博物館	佐久間象山と横浜—海防、開国、そして人間・象山	〃
	〃	春夏秋冬—くらしの行事を調べてみよう	〃
年報 22	東京家政学院生活文化博物館	水へのいのり—古代東国の川辺と井戸のまつり	〃
研究紀要 24	東京大学史料編纂所	昔のくらしと年中行事	〃
所報 49	〃	保土ヶ谷宿脇本陣藤屋資料集	〃
孤峰—江戸千家の茶道 1月号～12月号	江戸千家茶道会	紀要 32	横浜開港資料館
大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト 安定化処理(財)日本博物館協会	〃	研究報告 50	小田原市郷土文化館
東京国立博物館所蔵骨角器集成 2 鹿角製刀剣装具篇	東京国立博物館	紀要第 26	川崎市市民ミュージアム
	〃	自然と文化 37	平塚市博物館
国宝 土偶展	〃	年報 37	〃
Cultivate 42・43	文化環境研究所	平塚の石仏 ～3058の祈りと願い～	〃
世界遺産年報2015 20	(社)日本ユネスコ協会連盟	平塚市文化財展 真田・北金目遺跡群	〃
昭和のくらし研究 12	昭和館	馬の郷土玩具 風土がはぐくんできた馬500点	馬の博物館
館報 15	〃	サラブレッドとその美術	〃
戦後70年 よみがえる日本の姿～オーストラリア戦争記念館所蔵写真展～	〃	歌舞伎と馬	〃
日本美術年鑑 平成24年版	東京文化財研究所	研究紀要 19	〃
		民具マンスリー 47-1～12 神奈川県立日本常民文化研究所	〃

歴史と民俗 31	〃	東街便覧図略 巻四	名古屋市博物館
港をめぐる二都物語 江戸東京と横浜	横浜市都市発展記念館	研究紀要 37	〃
北欧の夢 ニューヨークの洗練 日本の情緒 脇坂克二テキスタイルデザインの世界	女子美術大学美術館	年報 23	安城市教育委員会
女子美術大学美術館		アップレ! 宮大工〜安城の社寺建築を知る〜	安城市歴史博物館
『村木忍・村木与四郎・黒澤明〜映画美術の世界〜』展	〃	龍燈の湖一油ヶ淵の過去・現在・そして未来へ	〃
input→output 溝田コレクション×光島貴之	〃	安城ゆかりの大名 時代を駆け抜けた武将 加藤嘉明	〃
KIMONO 小袖にみる華・デザインの世界	〃	研究紀要 20	〃
アジアの華Ⅱ一美の環流	〃	一宮市博物館年報 11	一宮市博物館
それぞれのまなざし in other eyes一展示会場図一	〃	自動車を楽しむ豊田英二一ものづくりのまち豊田市への歩み一	豊田市郷土資料館
絵になる瞬間一相模原市在住作家展一	〃	旅セヨ乙女 江戸時代、おんなたちの旅	豊橋市二川宿本陣資料館
具象と抽象のはざま展	〃	陶彫 常滑陶彫の歴史	半田市立博物館
女子美の歴史 Ⅱ	〃	米づくり 近代から現代へ	〃
四季をめぐる	〃	内海焼の流れをくむ 陶芸展	〃
所蔵品目録 インドネシア染織品	〃	平成25年度 年報・紀要	〃
法隆寺金堂壁画をうつす コロタイプと画家による模写制作展	〃	大垣藩と起宿	一宮市尾西歴史民俗資料館
関帝廟と横浜華僑	「関帝廟と横浜華僑」編集委員会	日吉山王社をとりまく歴史的環境調査報告書	岡崎市教育委員会
大新潟展	新潟市歴史博物館	年報 平成23・24年度	岡崎市美術博物館
研究紀要 10	〃	祈 PLAY〜古今東西祈りの風景〜	〃
新潟地震展	〃	瀬戸の植木鉢一園芸ブームを支えた江戸・明治のうつわ	瀬戸蔵ミュージアム
北高木遺跡 出土品集	富山県埋蔵文化財センター	陶祖伝一陶祖伝記とその時代一	〃
富山湾の漁撈用具	氷見市立博物館	守護所シンポジウム②@清須 新・清須会議 資料集 清須市	〃
年報 32	〃	きよけく 森田りえ子展一花と人、生命に潜む美しきもの一	一宮市三岸節子記念美術館
写真にみる氷見の今と昔Ⅱ一うつりゆく人・もの・風景一	〃	新修名古屋市史 資料編 近代3・現代・考古 2	名古屋市政資料館
氷見の縄文人一その足跡をたどる一	〃	伊勢と熊野の歌	斎宮歴史博物館
研究紀要 21	富山県 立山博物館	宣長の版本	本居宣長記念館
年報 23	〃	鈴屋学会報 31	本居宣長記念館
立山禪定名所案内一観光地・立山のルーツをさぐる一	〃	式年遷宮記念 神宮美術館 3	神宮美術館
近代の文人と立山	〃	続・藩札と羽書 MIEのエコマネー	松阪市立歴史民俗資料館
メタルズ!一変容する金属の美一	高岡市美術館	玉城町史 近世・近代史料集 8	玉城町
年報 2〜7	石川県金沢城調査研究所	安土城への道	滋賀県立安土城考古博物館
敦賀湊と三国湊	福井県立歴史博物館	紀要 22	〃
白山曼荼羅一描かれた神々と観音信仰一	〃	平成25年度 年報	〃
館報(平成25年度)	福井県立若狭歴史博物館	造形衝動の一万年一縄文の宇宙/円空の衝撃/アール・ブリュットの情熱一	〃
紀要 2013	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	井伊直弼のころ一一百五十年目の真実一	彦根城博物館
掘り起こされた音の形一まつりと音具の世界一	山梨県立考古博物館	研究紀要 24	〃
紀要 15(自然系)	長野市立博物館	年報 平成25年度	〃
紀要 15(人文系)	〃	彦根藩士の甲冑一赤備えの家臣団一	〃
収蔵資料目録 歴史14	〃	紀要 20	栗東歴史民俗博物館
収蔵資料目録 歴史15	〃	研究年報 11-1	滋賀大学環境総合研究センター
戦争と平和展 近代都市・松本一戦争と軍隊、その遺産	松本市立博物館	滋賀大学教育学部紀要 63	滋賀大学教育学部
松本城下町の繁栄・祈り・信仰 一天神様400年一	〃	魚米之郷一太湖・洞庭湖と琵琶湖の水辺の暮らし一	滋賀県立琵琶湖博物館
年報 2012	〃	文化財修理報告書 12	楽浪文化財修理所
こども 松代みて歩き〜松代の民話〜	松代文化施設等管理事務所	人間文化 36~38	滋賀県立大学人間文化学部・学芸員課程
松代 27	〃	学芸員課程報告書 17	〃
松代藩の国絵図・城下絵図・町絵図	〃	京都府中世城跡調査報告書 第3冊一山城編 1一	京都府教育委員会
真田宝物館収蔵品目録 真田家旧蔵資料目録一	〃	京都府埋蔵文化財調査報告書(平成25年度)	〃
ものが語る みの・ひだの歴史	岐阜市歴史博物館	2013年度年報	京都府京都文化博物館
年報 19~28	〃	朱雀 26	〃
桃山陶を楽しむ一美と技一	土岐市美濃陶磁歴史館	「山城の瓦製作用具」京都府指定有形民俗文化財指定記念 わざの極意は道具にあり一山城の瓦づくり一	〃
縄文そして登呂一八ヶ岳山麓から駿河湾まで一	静岡市立登呂博物館		
紀要 38	沼津市明治史料館		
沼津兵学校とその時代	〃		
浜松市史 新編 史料編	浜松市		

京都府立山城郷土資料館	浪人たちの大坂の陣	〃
丹後発掘—縄文・弥生・古墳時代— 京都府立丹後郷土資料館	徳川時代大坂城関係史料集 第十七号 大坂城代記録(七)	〃
年報 平成24年度 宇治市歴史資料館		〃
収蔵資料調査報告書16 宇治市の写真資料4	乱世からの手紙	〃
初三郎式鳥瞰図「誕生」100年 日本パノラマ大図鑑	現場から 2 歴史学と博物館のあり方を考える会	〃
ふるさとの名品—指定文化財の世界— 亀岡市文化資料館	歴史学と博物館 9・10	〃
ふるさと亀岡をつづる—福知正温の足跡—	モダニズムの記憶 —建築で見る北摂の近代—	〃
「向日里人物志」の世界—近世乙訓の文化サロン—		池田市立歴史民俗資料館
向日市文化資料館	かわりゆくふるさと 泉大津市の70年—泉大津市制施行70周年	
茶の湯の名碗 茶道資料館	記念写真集— 泉大津市教育委員会	
光悦・等伯ゆかりの寺 本法寺の名宝	ふるさとの民具—泉大津市立織編館収蔵民具より—	〃
年報 平成25年度 京都大学総合博物館	泉大津市文化財調査報告49 泉大津市・和泉市大園遺跡発掘	
年報 21 京都工業繊維大学美術工芸資料館	調査報告書—宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	〃
ポスター・コレクション カタログ・レゾネ (5)・(6)		〃
2013年度生活活動報告書 京都工業繊維大学アートマネージャー	泉大津市文化財調査報告50 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報	33
養成講座		〃
まねる・まねぶ・まなぶ—複製にみる教育と保存—	縄文から弥生へ—船橋遺跡の縄文絵画土器が語るもの—	
京都工業繊維大学アートマネージャー養成講座 保存・修復プ		柏原市立歴史資料館
ロジェクト報告書		柏原市古文書調査報告書 9 河内国安宿郡郡国文村 南西尾
離宮八幡宮と中世の灯油油 大山崎町歴史資料館	家文書目録 I	〃
花園史学 35 花園大学史学会	館報 26	〃
研究紀要 46 花園大学文学部	岸和田市史史料 11 熊沢友雄日記(6) 明治23(1890)~明治	
キリスト教社会問題研究 63 同志社大学人文科学研究所	25年 岸和田市教育委員会	
社会科学 44—1~4	一片の瓦から~東アジアにふれる~ 吹田市立博物館	
博物館学年報 45 同志社大学博物館学芸員課程	近代趣味人の美意識—第十一代西尾與右衛門の世界—	〃
紀要 21 佛教学総合研究所	館報 14	〃
立命館平和研究 立命館大学国際平和ミュージアム	歴史都市八尾プロジェクト報告書	
立命館大学文学部学芸員課程研究報告 15 杉沢遺跡2012年発	八尾市内文化財保存公開施設連携強化事業実行委員会	
掘調査概報 立命館大学文学部	高安郡の総合的研究 八尾市立歴史民俗資料館	
立命館大学文学部学芸員課程研究報告 16 五塚原古墳第4次	変わる寺内町像—発掘調査の成果から—	〃
発掘調査概報	館報(平成25年度)・研究紀要 25	〃
館報 17 同志社大学歴史資料館	貝塚市文化財年報 9~12 貝塚市教育委員会	
第19回定期研修会報告集 国宝修理装演師連盟	貝塚御坊願泉寺と平成の大修理	〃
建築研究協会誌 27 (財)建築研究協会	水間寺の歴史と寺宝	〃
建築研究協会誌 28	志学台考古 14 一年代・産地・分析等—	
戦国武将と神仏 大谷大学博物館		大阪大谷大学文化財学科
京都府埋蔵文化財情報 124~126 (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター	文化財研究 14	〃
新宇治の碑 路傍の語り部たち 宇治市文化財愛護協会	古墳出土品がうつし出す工房の風景 大阪大谷大学・博物館	
シルクロード 京都造形芸術大学芸術館	大阪市立自然史博物館館報 39 大阪市立自然史博物館	
河内の美技心 大阪府立弥生文化博物館	関西大学年史紀要 23 関西大学工業技術研究所・年史編纂室	
大阪府立弥生文化博物館図録51	交流する大学ミュージアムを目指して 関西大学博物館	
平成24年度 要覧	関西大学名品万華鏡 館報選イチョシ!	
河内地寶		関西大学博物館・図書館
研究報告 7	関西大学博物館紀要 20	〃
遙かなるメソポタミア	アジア学科年報 7 国際教養学部アジア学科	
ヤマト王権と葛城氏 大阪府立近つ飛鳥博物館	アジア観光学年報 15	〃
出土品が語る海と「おおさか」	年報 2013 大阪大学総合学術博物館	
館報 17	適塾 47 適塾記念館	
箸墓以降—邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ—	紀要 9 大手前女子大学史学研究所	
歴史発掘おおさか2014—大阪府発掘調査最新情報—	広重の東海道—十二種類の東海道五十三次—	
エヴァンゲリオンと日本刀 大阪歴史博物館		和泉市久保惣記念美術館
戦国アバンギャルドとその昇華	微の美術	〃
年報 平成25年度	紀要 19	〃
第九回お守り刀展覧会作品集 全日本刀匠会	史泉 120・121 関西大学文学部史学	
上方の浮世絵—大坂・京都の粋と技—	研究紀要・館報 12 大阪市立住まいのミュージアム	
大阪遺産 難波宮—遺跡を読み解くキーワード—	成合春日神社伝来 大般若経・馬具調査報告書	
二次元VS日本刀 ~普及版~		高槻市立しるあと歴史館
紀要 14 大阪市立美術館	泉南市遺跡群発掘調査報告書XXXI 泉南市文化財調査報告書	
豊臣と徳川 大阪城天守閣	第54集 泉南市教育委員会	
	阪南市埋蔵文化財報告52 阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 31	

奈良文化財研究所概要 2014	奈良文化財研究所
大宮家文書調査報告書	奈良文化財研究所史料 90
平成25年度奈良市文化財調査報告	〃
奈良山発掘調査報告 II	〃
紀要 28	奈良県立美術館
年報 平成24年度	〃
古代墓誌の三次元計測と太安萬侶墓出土資料の分析	橿原考古学研究所附属博物館考古資料集 3
	橿原考古学研究所附属博物館
大和の豪族たちと藤ノ木古墳	〃
大和を掘る 32	2013年度発掘調査速報展
弥生時代の墓—死者の世界—	〃
飛鳥宮と難波宮・大津宮	〃
私かとらえた大和の民俗	奈良県立民俗博物館
館報 27	天理大学附属天理参考館
魅惑の玉	公益財団法人桜井市文化財協会(教育委員会)
桜井市立埋蔵文化財センター展示解説書	発掘調査速報展
2050cm下の桜井	〃
文化財調査年報	田原本町教育委員会
弥生遺産II～唐古・鍵遺跡の木製品～	唐古・鍵考古学ミュージアム
葛城とヤマトタケル白鳥伝説	葛城市歴史博物館
シンポジウム報告書	那賀郡の軒瓦に見られる東アジアとの交流
	帝塚山大学考古学研究所
松・竹・梅 鑑賞の手引	大和文華館
年報 1	桜井市纏向学研究センター
纏向学研究 2	〃
中家文書調査報告書(五條市文化財調査報告書 13)	五條市教育委員会
1707宝永地震 報告書	和歌山県立博物館
きのくにの城と館—紀中の戦国史—	〃
文化財の魅力発見!—歴史を守り伝える—	〃
未来へ伝える私たちの歴史—文化財を守るために—	〃
研究紀要 20	〃
那智田楽へのいざない	和歌山県立紀伊風土記の丘
館報 28	橋本市郷土資料館
海南市文化財調査報告書 48	海南市内遺跡発掘調査概報—平成25年度—
	海南市教育委員会
紀の川流域の文化遺産を活かした地域活性化事業	調査研究報告書
	和歌山県教育委員会
平成24・25年度	和歌山県自然的名勝調査報告書
和歌山県埋蔵文化財調査年報 —平成24年度—	〃
古文書徹底解釈 紀州の歴史	和歌山県立文書館
収蔵史料目録 13	紀美野町福田 岡本家文書目録
きのくに文化財 47	(社)和歌山県文化財研究会
公益財団法人和歌山県文化財センター年報2013	和歌山県文化財センター
公開シンポジウム	熊野三山の考古学—発掘調査から見た信仰の始まりと展開—
	〃
公開シンポジウム	和歌山城と城下町の風景 資料集
	〃
神前遺跡—和歌山橋本線道路改良工事に伴う発掘調査報告書—	〃
	〃
地宝のひびき—和歌山県内文化財調査報告会 資料集—	〃
立野遺跡—近畿自動車道松原那智勝浦線	すさみ西インターチェンジ(仮称)事業に伴う発掘調査報告書—
	〃
六十谷遺跡—都市計画道路(西脇山口線(園部・六十谷)道路)改良事業に伴う発掘調査報告書—	〃
太田・黒田遺跡 第13・19・20次発掘調査報告書	和歌山市教育委員会

和歌山市内遺跡発掘調査概要—平成24年度—	〃	江の川大図鑑	〃
移民と和歌山—先人の軌跡をたどって—		村上家乗 万延元年・文久元年	広島県立文書館
和歌山大学紀州経済史文化史研究所		和風 124～127	上田流和風堂
紀要 35	〃	和風堂文庫1 『茶道長問織答抄』を読む	〃
田辺市立美術館年報 6	田辺市立美術館	和風堂文庫2 『宗箇様御聞書』を読む	〃
和歌山県伊都郡かつらぎ町文化財調査報告書 7 平成24年度		年報 平成23～24年	山口県立美術館
かつらぎ町埋蔵文化財調査年報	かつらぎ町教育委員会	雪舟研究会研究誌 天開圖畫 10	〃
和歌山文化 26	和歌山文化協会	秋吉台科学博物館報告 49 秋	吉台科学博物館
東家遺跡・東家館跡発掘調査報告書—橋本市こども園新築工事に伴う発掘調査—	橋本市遺跡調査会	鳥居龍蔵の国内調査—沖縄・南九州—	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
上富田町収蔵品総目録 1～9	上富田教育委員会	年報 4	〃
和歌山の部落史 史料編 近現代1 高野山文書 前近代1・2	(社)和歌山人権研究所	空海の足音 四国へんろ展	徳島県立博物館
有田川の地宝 地中に埋もれた有田川町の歴史	有田川町教育委員会	いただきま〜す！—食の生活史と自然誌—	〃
有田川町埋蔵文化財調査年報	〃	研究報告 24	〃
蘭島及び三田・清水の農村村景観 重要文化的景観選定記念シンポジウム記録集	〃	年報 23	〃
和歌山市都市整備公社発掘調査報告書 3 太田・黒田遺跡第61次発掘調査報告書	(財)和歌山市都市整備公社	ひな人形の世界	徳島市立徳島城博物館
和歌山市文化スポーツ振興財団発掘調査報告書 1 田屋遺跡第7・8次発掘調査報告書	(財)和歌山市文化スポーツ振興財団	英雄幻想	〃
和歌山市文化スポーツ振興財団発掘調査報告書 2 西井遺跡第3・4次発掘調査報告書	〃	四国の大名—その美と心—	〃
和歌山市文化スポーツ振興財団発掘調査報告書 3 津奈Ⅱ遺跡第4次発掘調査報告書	〃	人形芝居の幕が開く	〃
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報—平成23年度(2011年度)—	〃	年報 22	〃
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報—平成24年度(2012年度)—	〃	描かれた祈り	〃
紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書—平成24年度—	紀の川市教育委員会	珉平焼と蜂須賀家	〃
第96回全国高等学校野球選手権大会出場記念	和歌山市立和歌山高等学校後援会	たのしむ日本美術	香川県立ミュージアム
季刊誌 み・ち 17	(有)オフィス・コカフ	ミュージアム 調査研究報告 5	〃
梅田雲浜入門	ウイング出版部	年報 6	〃
熊野(改題くちくまの) 146・147	紀南文化財研究会	収蔵資料目録 6	〃
熊野誌 61	新宮市立図書館	愛媛県内民俗関係新聞記事目録	愛媛県歴史文化博物館
私たちの有田市	有田市	研究紀要 19	〃
和歌山地方史研究 66・67	和歌山地方史研究会	三瀬諸淵	〃
南紀陶磁器類集	関口栄治郎	四国遍路ぐるり今昔	〃
倭の五王と出雲の豪族 ヤマト王権を支えた出雲	島根県立古代出雲歴史博物館	人文学論叢 16	愛媛大学人文学会
岡山県立博物館研究報告 35	岡山県立博物館	おもちゃの牧場 —干支の馬—	高知県立歴史民俗資料館
護国山曹源寺	〃	年報 22	〃
山田方谷展	〃	田辺寿男の民俗写真4 たましいの四季	〃
艶美の競演—東西の美しき女性 木原文庫より—	笠岡市立竹喬美術館	長宗我部氏と宇喜多氏—天下人に翻弄された戦国大名—	〃
新発見、再発見の竹喬	〃	紀要 22	高知市立自由民権記念館
没後60年 菊池契月展	〃	NEWS&KENBI LETTER 2004-2014	高知県立美術館
幻の青い鳥ブッポウソウ	倉敷市立自然史博物館	「空海の足音 四国へんろ展」高知編	高知県立美術館
研究報告 29	〃	研究論集 39	九州歴史資料館
館報 23	〃	史料目録 24 購入文書目録・I	九州歴史資料館分館 柳川古文書館
年報 平成25年度	津山郷土博物館	年報 平成25年度	〃
紀要 28 津山松平藩町奉行日記 22	〃	邪馬台国が見える！！古代日本の原風景	北九州市立自然史・歴史博物館
津山の商家が伝えた文人画～広瀬台山と飯塚竹斎～ 苅田家コレクション	〃	研究報告 11	〃
年報 27 ノートルダム清心女子大学 生活文化研究所	岡山シティアム	年報 平成24年度	〃
岡山びと The "okayamabito" 8	岡山シティアム	年報 20	福岡市博物館
年報 31	広島県立歴史民俗資料館	研究紀要 23	〃
		平成22(2010)年度収集・収蔵品目録 28	〃
		幽霊・妖怪画大全集	〃
		年報 14	筑紫野市歴史博物館
		安東省庵集 翻字編	柳川市史編集委員会
		福岡県中近世城館遺跡等詳細分布調査報告書 I 福岡県の中近世城館跡 I—福岡県文化財調査報告書 249	福岡県教育委員会
		第5回 東アジア紙文化財保存修理シンポジウム 報告書	九州国立博物館
		鳴滝紀要 24	シーボルト記念館
		わかる！和華蘭	長崎市

館報 26 熊本市立熊本博物館
 研究紀要 15 大分県立歴史博物館
 報告書 15 豊後國山香郷の調査 資料編2 //
 年報 2013 //
 南蛮屏風の世界～描かれた都市の賑わい～ 大分市歴史資料館
 研究紀要 34 宮崎県総合博物館
 年報 43 //
 都城島津伝承館史料集 3 都城島津家役所日記 3
 都城島津邸
 鹿児島大学埋蔵文化財調査センター調査報告書 9 鹿児島大
 学構内遺跡(郡元団地) 鹿児島大学埋蔵文化財調査センター
 脇田亀ヶ原遺跡 桜ヶ丘団地B-4～6区ほか //
 Koreana 21-1～4 韓国国際交流財団
 NATIONAL MUSEUM MASTERPIECE EXHIBITION
 國立晋州博物館
 The 30Years History of the Jinju National Museum1984-2014
 //
 固城 GOSEONG //

4. 映像資料概要

本館の常設展示室には、原始・古代・中世・近世・近代の各コーナーに5台のビデオ放映器(VTD)と、民俗コーナーに1台のビデオプロジェクターを設置している。

VTDは、シリコンディスク使用のパソコンとタッチパネル式の19インチモニターを採用し、モニター画面を手で触れることで映像を選択できるようになっている。

ビデオプロジェクターもシリコンディスク仕様のパソコンと100インチの平面スクリーンを設置し、照光式のボタン式スイッチで映像を選択できるようになっている。

映像については、それぞれ3分前後の内容を数本収録し、視覚的な紹介をしている。

・常設展示室各コーナー収録番組

原始：弥生時代の太田・黒田遺跡

太田・黒田の銅鐸

大谷古墳の発掘

古代：奈良時代のくらし—木簡はかたる—

古代和歌山の仏教

万葉集—笠朝臣金村の長歌—

大同寺の蔵骨器

中世：柿田(笠田)荘の荘園絵図

中世の遺跡をたずねて

津田監物と鉄砲

雑賀鉢の謎

絵画に見る太田城水責め

近世：あるくみる城下町

和歌山城の門

八代将軍徳川吉宗—その武と雅—

城下町和歌山の文化

紀州藩と茶道

紀州の黒船ディアナ号

近代：昭和初年への旅立ち

—その頃の和歌山は—

戦争で子どもたちまで勤労働員

和歌山大空襲

和歌山城の再建

民俗：雛流し 淡島神社

和歌祭 紀州東照宮

茅の輪祭 伊太祁曾神社

団七踊 岡崎団七踊保存会

木ノ本の獅子舞 木本八幡宮

III 平成27年度の展望

1. 平成27年度事業予定概要

—昨年、の包括外部監査の提案を受けて、開かれた博物館を実現するため、昨年度、博物館の基本的運営方針を策定した。そして、27年度当初から和歌山市立博物館基本的運営方針をホームページに公開した。

本年度からは、これに従って博物館の運営を行う。

常設展

常設展は、開館以来、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマに和歌山市域を対象とした通史的な展示を行っている。常設展内にはコーナー展示と、2か月ごとに大幅な展示替えをする展示ケースを2か所に設けている。それぞれ年5回、下記のとおり、ケースごとの展示替えを行っている。そのほかに、常設展で和歌山市の新指定文化財を公開するなど、常設展示に変化をもたせ、収蔵資料の公開の機会を増やして新鮮味を加える。

また、玄関ホールを活用して、新着資料の速報展示など、その時々タイムリーなホール展示を開催する。

コーナー展示

- ・ 4月1日～5月31日
「紀州藩士のくらしと仕事」・「竹林七賢人図屏風」
- ・ 6月2日～8月2日
「戦時下の人々」・「中筋家のくらしと美」
- ・ 8月4日～9月27日
「紀州藩御絵師—紀伊狩野家—」・
「安原地区の中世」
- ・ 9月29日～11月29日
「紀州藩御絵師—笹川家—」・「雑賀の兜」
- ・ 12月1日～3月27日
「絵画にみる米づくり」・
「南方熊楠と小笠原誉至夫」

特別展

本年度も昨年度と同じく夏と秋の2回、特別展を行う。

夏季特別展は、「近代スポーツと国民体育大会—紀の国わかやま国体・わかやま大会への道—」をテーマに7月18日から8月23日まで開催する。今年は、和歌山県で2回目となる国民体育大会が開催される。展覧会では和歌山のスポーツ史を概観し、当時の資料や写真を展示し、戦前のオリンピック、明治神宮体育大会や黒潮国体を中心に紹介する。

秋季特別展は、「表千家と紀州徳川家」をテーマとして、10月17日から11月23日まで開催する。紀州徳川家は、表千家歴代を茶頭として招いて保護し、江戸時代を通して表千家と深い関わりを持っていた。展覧会では、表千家と紀州徳川家の交流、特に十代藩主治宝の時代を中心に展示を構成する。展示資料としては、数々の茶道具を生み出した御庭焼にスポットをあて、関係の深い作品を一堂に展示する。

特別陳列

収蔵資料を中心に、春と冬に特別陳列を2回開催する。

春季特別陳列は、「古文書から探れ！地域のみ

ぢかな歴史」をテーマに、4月18日から5月31日まで開催する。博物館に収蔵している城下町や和佐地区などの古文書を展示し、歴史を身近に感じてもらえるよう展示に工夫をこらす。また、当館の資料収集活動の成果をご覧いただき、より一層の収集活動へのご協力をお願いし、収蔵資料の充実をはかってゆく。

冬季特別陳列は、「歴史を語る道具たち」をテーマに、1月13日から2月28日まで開催する。この展覧会は、市民から寄贈された生活道具や農機具等の民具を展示し、昔のくらしの実態を示すとともに、それらの民具を通じて、人びとの生活の智慧と工夫を理解してもらうものである。本展は、学校教育との連携の一例で、小学校3年生の社会科の課程に関連させた企画で、毎年この時期に開催している。

古文書講座

本年度は古文書講座を4月25日、5月9日、5月23日、5月30日の4回開催する。博物館に収蔵している古文書をテキストとして、和歌山の歴史について理解が深められるように解説する。

市博講座

教育普及事業として、今年は市博講座を3回、土曜日の午後1時30分から開催する。

夏は記録映画会として、映画「和歌山大空襲」を上映し、常設展示している空襲関係の資料を解説する。

秋は「紀州のお殿様」と題して、9月12日に「徳川頼宣」、9月19日に「徳川吉宗」、9月26日に「徳川治宝」、10月3日に「徳川慶福」の4回を開催する。

冬は「戦国時代の雑賀」という統一テーマで、次の4回開催する。

- ・ 1月23日 「戦国時代ころの地形環境」
- ・ 1月30日 「考古学からみた雑賀惣国」
- ・ 2月6日 「雑賀衆と鉄砲」
- ・ 2月13日 「雑賀一揆と雑賀一向一揆」

体験学習

教育普及事業の一環として、伝統的なくらしを体験してもらうために、本年度は次の5回の体験学習を開催する。

- ・ 8月20日 扇子をつくろう
- ・ 8月29日 むかしの遊びを体験しよう
- ・ 1月16日 むかしの遊びを体験しよう
- ・ 2月20日 蓄音機で音楽を聴こう
- ・ 2月27日 むかしの遊びを体験しよう

史跡散歩

史跡散歩は市内の史跡や文化財に親しんでもらうため、毎年秋に開催している。今年11月28日に「和歌山城を歩く」と題して史跡和歌山城の見学を行う。和歌山城関係の史跡散歩は好評で、数年に一度、和歌山城や城下町の史跡散歩を計画している。

校区探検

当館では、公立学校の週5日制の導入に対応して、市内小学校及び校区子どもセンターと協力し、校区内の歴史的スポットを見学する校区探検を開催している。本年度は、秋に吹上小学校区で開催する予定である。

調査研究

本年度は、特別展「近代スポーツと国民体育大会」及び「表千家と紀州徳川家」に関する調査研究を中心に行い、その成果はそれぞれの展示図録の中で報告する。

また、特別展の年次計画に基づいて、平成28年度の夏季特別展「玉津島神社(仮題)」、秋季特別展「紀州の絵師(仮題)」の調査を進めていく。それ以降に開催予定の特別展についても基礎調査を開始する。

そのほか、館蔵資料及び関連資料の調査研究を進め、その成果を『研究紀要』に掲載する。

資料収集

展示資料購入費によって、計画的な資料の購入を行っている。本年度は、笹川遊泉筆「和歌浦図巻」、火縄銃、野呂介石筆「山水図」等のほか、郷土関係資料の購入を予定している。また、収蔵資料の充実を図るために、資料の寄贈・寄託を積極的にすすめていく。

当館では、資料の保存環境を維持するため、燻蒸(消毒)を実施している。本年度は、3階収蔵庫及び常設展示室の燻蒸を、6月22日～29日の期間に実施する。

市史関係資料の管理

保管している市史関係資料の整理を進め、資料的価値が高い文書史料の翻刻を行って、『和歌山市史研究』44号に掲載する。

博物館実習

毎年、各大学からの依頼に基づいて、博物館実習生を受け入れている。本年度は、8月18日から22日までの5日間、博物館実習を行う。なお、受け入れに関する要項は、別掲「博物館実習生受け入れに関する内規」(12頁)のとおりである。

2. 平成27年度博物館当初予算

歳入

(単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	節	
				区 分	金 額
教育使用料	1,120	1,420	△300	博物館使用料	1,120
基金収入	3	3	0	博物館振興基金収入	3
雑 入	2,282	3,414	△1,132	博物館図録等販売収入	2,282

歳出

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			節		
				特定財源			一般財源	区 分	金 額
				国県 支出金	地方債	その他			
11 博物館費	124,518	136,027	△ 11,509			3,405	121,113	1 報酬 140 2 給料 36,138 3 職員手当等 22,021 4 共済費 12,008 8 報償費 464 9 旅費 1,046 11 需用費 17,606 12 役務費 2,040 13 委託料 30,471 14 使用料及び賃借料 360 18 備品購入費 2,156 19 負担金、補助及び 交付金 51 25 積立金 3 27 公課費 14	

IV 資料

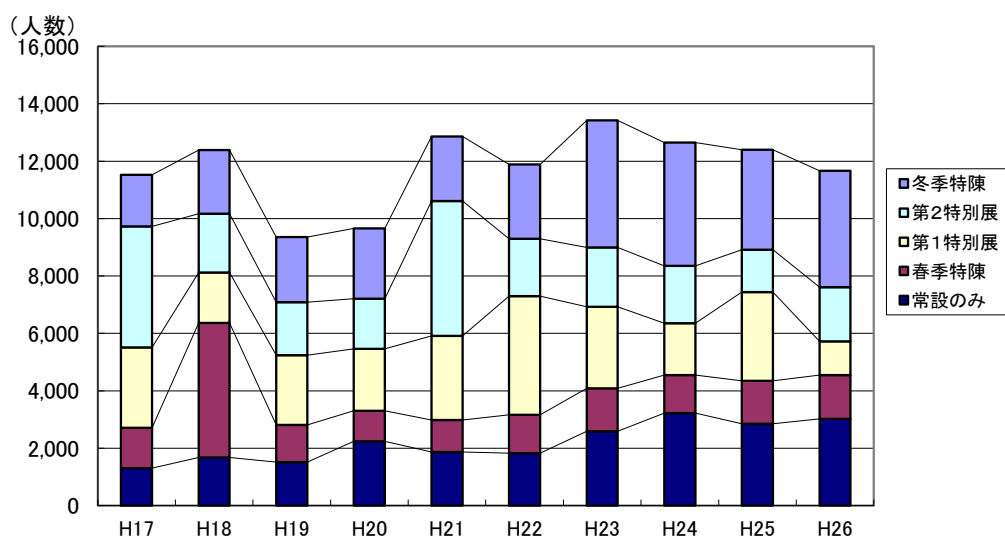
○入館者の動向

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	開館 日数	個 人			団 体			無 料 入館者 (含団体)	合 計	1日 平均	備 考
		一般 / 大	小中高	小計	一般 / 大	小中高	小計				
平成26年 4月	26	141	0	141	50	0	50	264	455	17.5	特別陳列 4/19～6/1
5月	27	319	0	319	0	0	0	941	1,260	46.7	
6月	26	131	0	131	0	0	0	62	193	7.4	
7月	27	338	48	386	0	0	0	301	687	25.4	特別展 7/19～8/24
8月	27	336	165	501	0	0	0	470	971	36.0	
9月	25	215	0	215	110	78	188	242	645	25.8	
10月	27	189	6	195	0	0	0	1,044	1,239	45.9	特別展 10/18～11/24
11月	26	247	23	270	51	0	51	1,295	1,616	62.2	
12月	22	72	0	72	0	0	0	60	132	6.0	
平成27年 1月	23	186	0	186	0	0	0	1,421	1,607	69.9	特別陳列 1/14～3/1
2月	24	221	0	221	0	0	0	2,273	2,494	103.9	
3月	26	184	0	184	31	0	31	154	369	14.2	
合計	306	2,579	242	2,821	242	78	320	8,527	11,668	38.1	

過去 10 年間の入館者数の変化

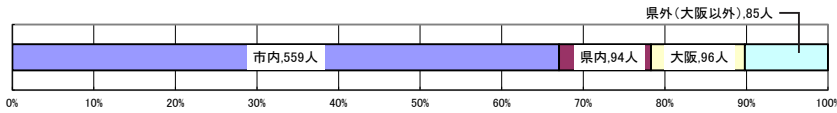
	常設のみ	春季特陳	第1特別展	第2特別展	冬季特陳	総入館者数
平成 17		発掘・発見！ 和歌山市	和歌浦	石の記憶、(併設) 和歌山大空襲 60 年	歴史を語る道具たち	
	1,303	1,405	2,808	4,210	1,796	11,522
平成 18		古写真	近世和歌山の 科学者たち	桑山玉洲	歴史を語る道具たち	
	1,672	4,691	1,761	2,050	2,213	12,387
平成 19		土の中からの贈り物、 (併設)戦争中の暮らし と子どもたち	南海の鎮・ 和歌山城	歴史のなかの 鉄炮伝来	歴史を語る道具たち	
	1,513	1,294	2,434	1,848	2,268	9,357
平成 20		近世書画の美	岩瀬広隆	南紀男山焼	歴史を語る道具たち	
	2,242	1,063	2,152	1,752	2,449	9,658
平成 21		発掘土器ドキ！ 昔の和歌山	南方熊楠の世界	写真に見る戦後の 和歌山	歴史を語る道具たち	
	1,865	1,121	2,928	4,696	2,251	12,861
平成 22		紀州藩の士族たち	紀州徳川家の お姫さま	よみがえる和歌山の 縄文世界	歴史を語る道具たち	
	1,831	1,335	4,131	2,001	2,590	11,888
平成 23		心の旅・ 全国の郷土玩具展	祇園南海と その時代	川端龍子と和歌山	歴史を語る道具たち	
	2,589	1,499	2,067	2,837	4,427	13,419
平成 24		新収蔵品展 博物館のたからもの 時代	ヘンリー杉本とその 時代	華岡青洲の医塾 春林軒と合水堂	歴史を語る道具たち	
	3,226	1,319	1,998	1,805	4,301	12,649
平成 25		博物館へ花見に 行こう	市電が走っていた 街	海人の世界	歴史を語る道具たち	
	2,851	1,496	3,093	1,474	3,487	12,401
平成 26		わかやま 歴史再発見	江戸時代を 観光しよう	荘園の景観と絵図	歴史を語る道具たち	
	3,025	1,525	1,881	1,175	4,061	11,667



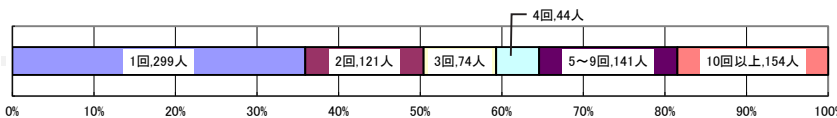
○アンケートの集計

平成26年度の2回の特別展開催時に回収されたアンケートの集計結果を提示する。
 期間中の総入館者は3056名、アンケート数は839通(回収率：27.5%)。

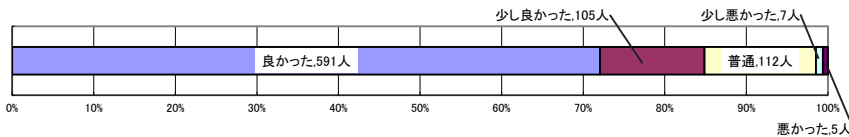
1. どちらから来られましたか？



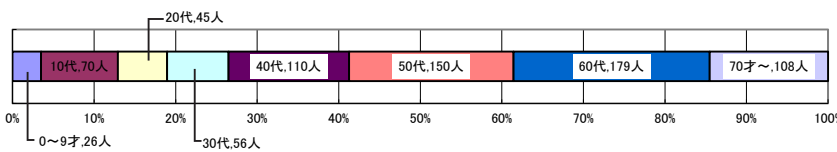
2. 来館は何回目ですか？



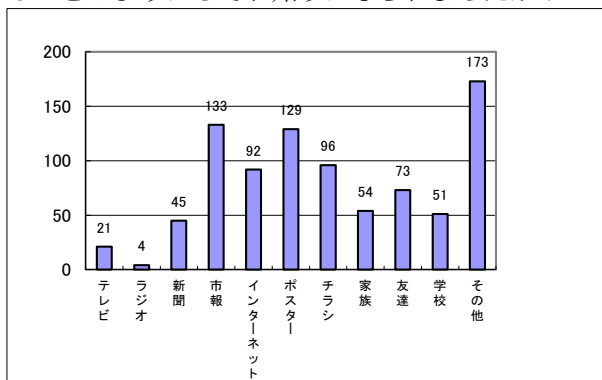
3. 展示はいかがでしたか？



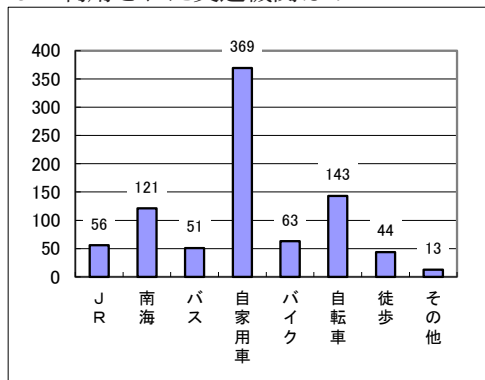
4. 年齢は？



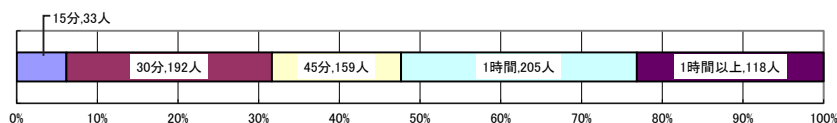
5. どのようにしてお知りになりましたか？



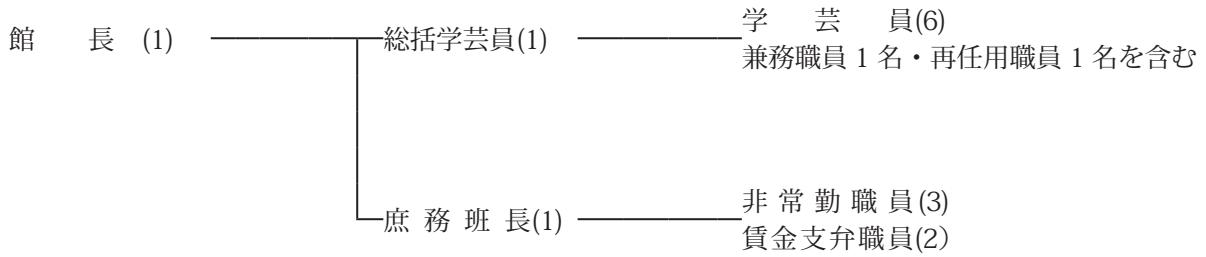
6. 利用された交通機関は？



7. 利用時間は？



○館機構 (平成27年4月1日現在)



○博物館職員 (平成27年4月1日現在)

館長	寺西 貞弘 (平成27.3.31退任)	総括学芸員	太田 宏一
館長	額田 雅裕 (平成27.4.1着任)	学芸員	益田 雅司 (兼務職員)
副館長	高橋 克伸 (平成27.3.31退任)	学芸員	近藤 壮
庶務班長	北口 繁人	学芸員	高橋 克伸 (平成27.4.1着任・再任用職員)
再任用非常勤職員	宇治田良一 (平成27.3.31退任)	学芸員	山下奈津子
非常勤職員	岩尾 光葉	学芸員	佐藤 顕
非常勤職員	西山 瞳	学芸員	小橋 勇介
非常勤職員	高田麻由美	学芸員	武内 善信 (平成27.3.31退任)
賃金支弁職員	西尾 夏美 (平成27.4.1着任)		
賃金支弁職員	岡 喬平 (平成27.4.1着任)		
賃金支弁職員	槇野 靖子 (平成27.3.31退任)		

○和歌山市立博物館協議会委員名簿

◎ 会長

○ 副会長

平成27年4月1日現在

	氏名	役職	備考
学校教育関係	高 善昭	和歌山市立小学校長会会長	H26・12・18再任
	湯川 能成	和歌山市立中学校長会会長	H26・12・18再任
社会教育関係	楠山 繁	和歌山文化協会 会長	H26・12・18再任
	南 正晃	和歌山陸上競技協会 専務理事	H26・12・18再任
家庭教育関係	堰本 信子	和歌山市婦人団体連絡協議会 会長	H26・12・18再任
学識経験者	上村 雅洋	和歌山大学経済学部教授	H26・12・18再任
	眞貝 昌洋	日本放送協会和歌山放送局局長	H26・12・18再任
	島津 俊之	和歌山大学教育学部教授	H26・12・18再任
	高橋 隆博	関西大学文学部教授	H26・12・18再任
	○千森 督子	和歌山信愛女子短期大学教授	H26・12・18再任
	西本 昌弘	関西大学文学部教授	H26・12・18再任
	◎藤本 清二郎	和歌山大学名誉教授	H26・12・18再任
寒川 篤	和歌山市議会議長	H26・12・18再任	

○和歌山市立博物館条例

〔昭和60年7月18日〕
条例第17号

改正 平成元年12月21日条例第66号
改正 平成9年3月27日条例第18号
改正 平成12年3月27日条例第24号
改正 平成19年3月22日条例第13号
改正 平成20年12月24日条例第68号
改正 平成23年12月19日条例第40号
改正 平成24年3月23日条例第23号
改正 平成26年3月24日条例第48号
改正 平成27年3月19日条例第31号

(設置)

第1条 本市は、郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
和歌山市立博物館	和歌山市湊本町3丁目2番地

(事業)

第3条 博物館は、法第3条第1項に定める事業その他必要な事業を行う。

(入館料)

第4条 常設展の入館料の額は、100円(20人以上の団体にあっては、1人につき80円)とする。

2 特別展の入館料の額は、2,000円とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、減額することができる。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる者の入館(常設展に係るものに限る。)は、無料とする。

(1) 学校(学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校(大学及び高等専門学

校(第4学年及び第5学年に限る。)を除く。)をいう。第4号において同じ。)に在学する学生、生徒、児童又は幼児(同号において「学生等」という。)

(2) 認定こども園(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号。第4号において「認定こども園法」という。)第2条第6項に規定する認定こども園をいう。第5号において同じ。)の園児(以下この項において単に「園児」という。)

(3) 小学校就学前の者(第1号に規定する幼児及び園児を除く。)

(4) 学生等又は園児を教育課程に基づく教育活動又は保育に係る活動において引率する当該学生等が在学する学校又は当該園児が在籍する幼保連携型認定こども園(認定こども園法第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。次号において同じ。)の教員(学校教育法第7条(認定こども園法第26条において準用する場合を含む。)に規定する教員をいう。)

(5) 保育所に入所している児童又は園児を保育に係る活動において引率する当該児童が入所している保育所の保育士又は当該園児が在籍する認定こども園(幼保連携型認定こども園を除く。)の保育に従事する職員

4 入館料は、前納しなければならない。

(入館料の減免)

第5条 市長は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

(資料の特別使用)

第6条 博物館資料について、刊行物に掲載し、又は展示することを目的として、撮影し、若しくは複写し、又は博物館資料に係る写真原板等の貸与若しくは画像等の提供を受けること(以下「特別使用」という。)をしようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当す

るときは、前項の許可をしない。

- (1) 博物館資料の保全上支障があるとき。
- (2) 博物館の管理上支障があるとき。
- (3) 特別使用に係る博物館資料が寄託されたものである場合に、前項の規定による申請をする者(次号において「申請者」という。)が当該博物館資料を寄託した者の同意を得ていないとき。
- (4) 特別使用に係る博物館資料に著作権者がある場合に、申請者が当該著作権者の同意を得ていないとき。
- (5) その他教育委員会が不相当と認めるとき。

3 教育委員会は、第1項の許可に必要な条件を付することができる。

4 第1項の許可を受けた者(次条において「特別使用者」という。)は、別表に定める額の使用料(以下「特別使用料」という。)を前納しなければならない。

5 市長は、学術研究その他の公益性の高い目的を達成するために特別使用をする必要があると認めるときは、特別使用料を免除することができる。

(特別使用の許可の取消し等)

第7条 教育委員会は、特別使用者が前条第3項の規定により許可に付された条件に違反したときは、当該許可を取り消し、又は特別使用を制限し、若しくは停止させることができる。

(入館料等の不還付)

第8条 既納の入館料及び特別使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物又は動物を携帯する者

- (3) 建物又は附属設備若しくは備品(以下「建物等」という。)を損傷し、又は滅失するおそれがある者

- (4) 次条の規定に違反した者

(行為の禁止)

第10条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生ずるおそれがある行為をすること。
- (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為をすること。
- (3) 建物等を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれがある行為をすること。
- (4) 所定の場所以外の場所で飲食し、又は喫煙すること。
- (5) その他管理上支障がある行為をすること。

(損害の賠償)

第11条 何人も、建物等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(博物館協議会の設置)

第12条 法第20条第1項の規定に基づき、和歌山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(委員の任命の基準)

第13条 協議会の委員の任命は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちからこれを行うものとする。

(委員の定数)

第14条 委員の定数は、15人以内とする。

(委員の任期)

第15条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第16条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたとき

は、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第17条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、必要に応じて開催するものとする。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、あらかじめ会議の日時、場所及び付議すべき事項を示して委員に通知しなければならない。ただし、急施を要する場合は、この限りでない。

4 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

5 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第18条 協議会の庶務は、生涯学習部において処理する。

(規則への委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表 (第6条関係)

特別使用料

区分	単位	使用料
博物館資料の撮影又は複写 (博物館資料の貸与を伴うものを含む。)	1点1回	2,050円
博物館資料に係る写真原板の貸与	1枚1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報を収録した光ディスク等の貸与	1画像 1回	2,050円
博物館資料に係る写真の提供	1点1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報の電磁的方法による提供	1画像 1回	2,050円

備考 複数の物で構成されるものであっても、博物館資料を分類する上で1点として取り扱うものは、1点とする。

○和歌山市立博物館条例施行規則

〔昭和60年11月1日〕
教委規則第3号

改正 平成元年12月21日条例第66号

改正 昭和61年10月6日教委規則第4号

改正 昭和62年3月31日教委規則第22号

改正 平成3年3月30日教委規則第15号

改正 平成4年3月2日教委規則第3号

改正 平成4年4月8日教委規則第7号

改正 平成5年3月29日教委規則第2号

改正 平成8年3月22日教委規則第11号

改正 平成12年3月31日教委規則第28号

改正 平成19年3月15日教委規則第4号

改正 平成21年3月19日教委規則第5号

改正 平成24年2月15日教委規則第3号

(趣旨)

第1条 この規則は、和歌山市立博物館条例(昭和60年条例第17号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間等)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたるときは、その翌日)

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館料の納付)

第4条 条例第4条の規定により、入館料を納め

た者は、入館券(第1号様式)の交付を受けなければならない。

(特別展の入館料)

第5条 条例第4条第2項ただし書の規定により減額する場合における特別展の入館料の額は、特別展に要する費用の額その他の事情を考慮してその都度教育委員会が定める。

(入館料の減免)

第5条の2 条例第5条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げる場合とし、同条の規定により減額する入館料の額又は免除は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、療育手帳(知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。次条第2項において同じ。)の交付を受けている者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びそれらの者の介護人が介護のために入館するとき 免除

(2) 本市が発行する老人優待利用券の交付を受けている者が入館するとき 免除

(3) その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき 教育委員会が必要と認める額

(入館料の減免申請)

第6条 条例第5条の規定による入館料の減額又は免除を受けようとする者は、入館料減額、免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定は、前条第1号又は第2号に該当する者については、適用しない。この場合において、同条第1号又は第2号に該当する者は、入館の際に同条第1号又は第2号に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉

手帳又は老人優待利用券を提示しなければならない。

(入館料の還付)

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により入館料を還付するものとする。

(1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰することのできない特別な理由により入館できないとき。

(2) その他特別な理由があると認めるとき。

(入館者の遵守事項)

第8条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示している博物館資料(館長が特に指定したものを除く。)に触れないこと。

(2) 許可を受けずに展示している博物館資料の模造、模写又は撮影をしないこと。

(3) 展示室でインク、墨汁等を使用しないこと。

(4) その他係員の指示に従うこと。

(資料)

第9条 収集した資料は、資料番号を付番し、博物館資料として整理するものとする。

(資料の貸出し)

第10条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるとき、又は特別使用のために必要と認められるときは、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出許可申請書(第3号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、館外貸出しに係る博物館資料が寄託されたものであるときは、博物館資料貸出許可申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定により博物館資料の館外貸出しを許可したときは、当該申請者に、博物館資料貸出許可書(第4号様式)を交付す

る。

(特別使用許可の申請及び許可)

第11条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、博物館資料特別使用許可申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、特別使用の許可をしたときは、博物館資料特別使用許可書(第6号様式)を当該申請者に交付する。

(特別使用料の納付)

第12条 特別使用者は、博物館資料特別使用許可書の交付を受ける際に特別使用料を納付しなければならない。

(特別使用料の免除申請)

第13条 条例第6条第5項の規定により特別使用料の免除を受けようとする者は、第11条第1項に規定する申請の際に、博物館資料特別使用料免除申請書(第7号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(特別使用料の還付)

第14条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により特別使用料を還付するものとする。

(1) 特別使用者の責めに帰することのできない特別な理由により特別使用ができないとき。

(2) その他特別な理由があると認めるとき。

(特別使用者の遵守事項)

第15条 特別使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等は、条例第6条第3項の規定により教育委員会が特別許可の条件として貸与期間を指定したときは、その期間の末日までに返還すること。

(2) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等を損傷し、又は滅失しないように適正に管理すること。

(3) その他教育委員会の指示に従うこと。

(雑則)

第16条 この規則で定めるもののほか必要な事項

は、教育委員会が別に定める。

平成26年度

和歌山市立博物館館報 30

平成27年7月1日発行

編集 和歌山市立博物館

和歌山市湊本町3丁目2

TEL 073-423-0003

FAX 073-432-9040

発行 和歌山市教育委員会

和歌山市七番丁23